

令和3年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 香川県社会福祉協議会

令
和
3
年
度

事
業
報
告
書

社
会
福
祉
法
人

香
川
県
社
会
福
祉
協
議
会

目 次

○ 全体概況.....	1
○ 事業推進項目の実施概況.....	2
○ 事業実施状況.....	12
1 県・圏域・市町における包括的な支援体制の構築に向けた取組み	
1－1 包括的な相談支援体制の構築.....	12
1－2 地域における権利擁護の推進.....	19
1－3 多機関協働・地域づくり・参加支援のための取組の推進.....	36
1－4 県内市町社協との連携・協働による地域福祉の推進.....	59
2 災害福祉支援ネットワークの構築..... 63	
3 福祉人材確保・育成・定着	
3－1 福祉人材センター事業の充実・強化.....	67
3－2 福祉・介護マンパワーの確保.....	72
3－3 資格取得支援等事業の推進.....	79
4 社会福祉法人・施設等への支援と福祉サービスの質の向上	
4－1 社会福祉法人・施設等への支援.....	82
4－2 福祉サービス苦情解決事業の推進.....	85
5 法人組織体制の強化と人材育成	
5－1 法人経営と事務局運営体制の強化.....	88
5－2 職員の人材育成と組織体制の強化.....	91
5－3 広報機能の充実・強化.....	92
全国・四国ブロック会議等への参加.....	94

令和3年度 香川県社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人 香川県社会福祉協議会

○ 全体概況

新型コロナウイルス感染症の影響により、経済状況や雇用情勢が悪化し、経済的な困窮や社会的孤立の深刻化などによる様々な不安や生きづらさを抱えた人が顕在化している中、国においては、地域共生社会の実現に向けて、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができるよう、地域福祉の基盤強化や包括的支援体制の整備などを推進している。

このような中、香川県社会福祉協議会(以下「県社協」という。)では、令和3年度事業計画において、「県・圏域・市町における包括的な支援体制の構築に向けた取組」や「災害福祉支援ネットワークの構築」、「福祉人材確保・育成・定着」、「社会福祉法人・施設等への支援と福祉サービスの質の向上」など、5つの重点推進項目を設定し、社会福祉の新しい動きや取り組むべき課題を的確に把握しながら、香川県はじめ関係行政機関、市町社会福祉協議会(以下「市町社協」という。)、社会福祉施設及び団体、その他福祉関係分野などとの連携のもと、広く地域住民の理解と協力、参加を得て事業を実施してきた。

特に令和3年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減少があった世帯の生活を支援するための生活福祉資金貸付制度の緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を実施するとともに、「香川おもいやりネットワーク事業」や「重層的支援体制構築に向けた後方支援事業」等において、コロナ禍で顕在化している生活課題解決のための取組を進めた。

さらに、災害への対応として、災害発生時に一般避難所等で要配慮者への支援を行う香川県災害派遣福祉チーム(香川DWAT)の組成や活動訓練を実施するなど、災害時に迅速に活動できるよう災害福祉支援の体制づくりに取り組んだ。

また、地域福祉を支える人材の育成、福祉・介護人材の確保・定着に向けた事業の実施や日常生活自立支援事業の実施とともに、成年後見制度の利用支援や関係機関等とのネットワークの構築にも継続的に取り組むなど、今日的な課題にも対応し事業を実施してきた。

会議や研修、行事等については、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、対策を行ったうえでの対面であったり、オンライン開催とするなどして、実施してきた。

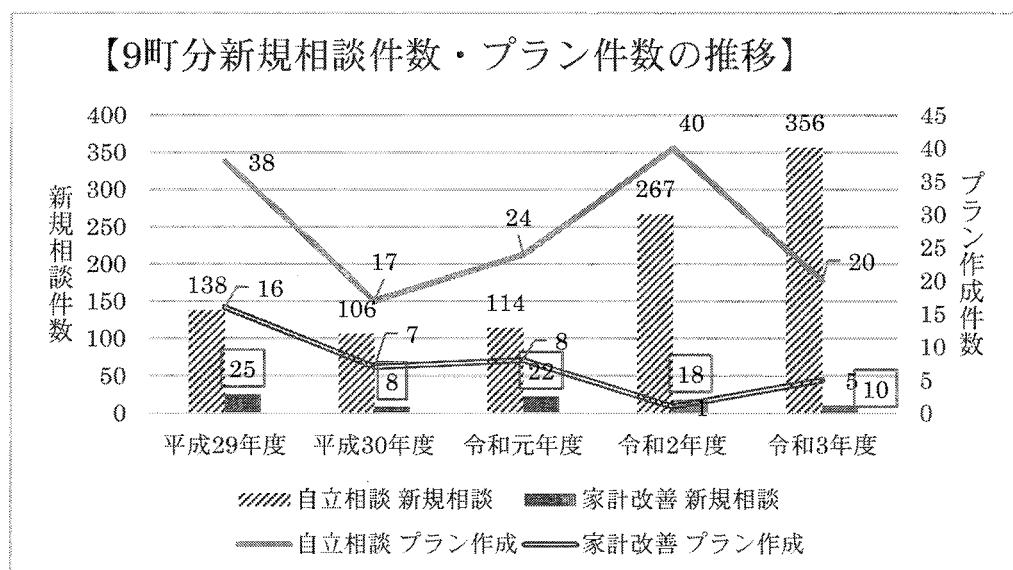
なお、令和3年度の主な事業推進項目の実施概況及び事業実施状況については、次のとおりである。

○ 事業推進項目の実施概況

1 県・圏域・市町における包括的な支援体制の構築に向けた取組

1-1 包括的な相談支援体制の構築

(1) 生活困窮者自立支援事業の実施では、各町社協に相談支援員を、県社協に主任相談支援員と家計改善支援員を配置し相談支援を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、生活が困窮する人や世帯が増加し、生活福祉資金における特例貸付の申請が延長される中、生活困窮者自立支援事業の新規相談件数は令和2年度に引き続き増加傾向であるが、新規相談件数に占めるプラン件数は増加していない。特例貸付について、今後、償還の手続きも進められることから、自立相談支援事業の実施方法等についての協議が必要であると考えられる。



(2) 生活福祉資金貸付事業

ア 本則貸付

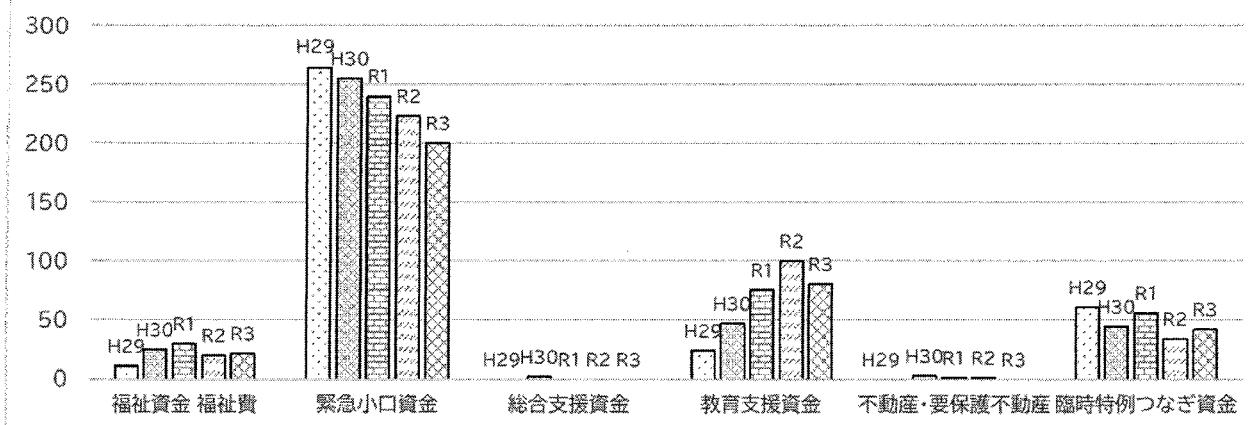
特例貸付を除く令和3年度の本則による貸付決定件数は345件で、前年度から33件減となっている。

生活保護費の支給開始までのつなぎ資金としての緊急小口資金や臨時特例つなぎ資金の申請数の減少が顕著な一方で、教育支援資金は、令和2年度に続き申請数が多く、1件あたりの申請額も増加傾向である。

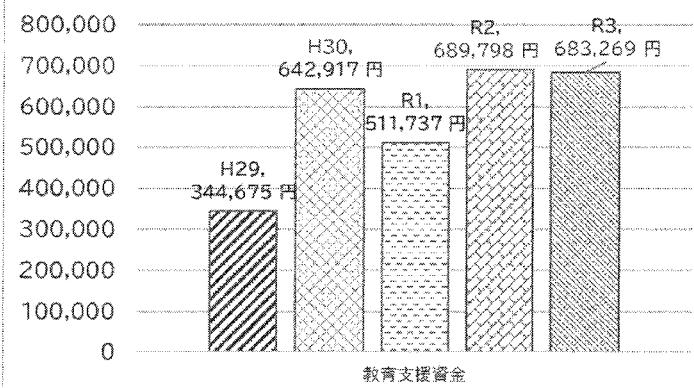
[令和3年度貸付決定(通常貸付分)]

資金の種類	件数	貸付決定額(円)
福祉資金	222	15,766,200
総合支援資金	0	0
教育支援資金	81	55,344,800
不動産担保型生活資金	0	0
臨時特例つなぎ資金	42	1,885,000

平成29年度から令和3年度までの特例貸付を除いた各資金の貸付決定件数(本則分)



教育支援資金における貸付決定1件あたりの決定額



イ 特例貸付

令和3年度における特例貸付は下記のとおりである。

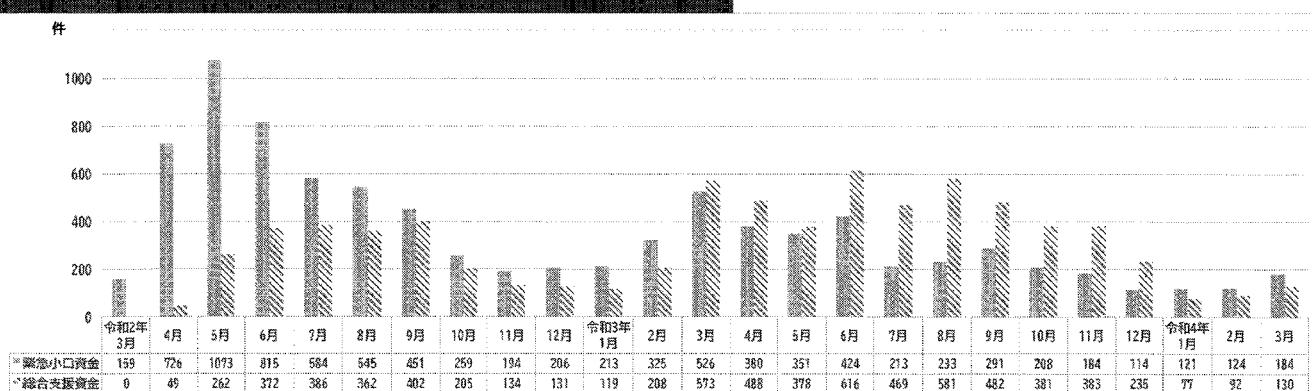
令和3年度は、総合支援資金の初回・延長・再貸付があったことから長期に渡り借入をした世帯が増加した。

緊急小口資金、総合支援資金の全体の件数における市町社協別の貸付比率は、令和2年度とほぼ同じで、高松市が半数を占めている。

[令和3年度貸付決定 (特例貸付分)]

資金の種類	件数	貸付決定額 (円)
総合支援資金	4,312	2,220,060,000
緊急小口資金	2,827	546,770,000

緊急小口資金・総合支援資金 月別決定件数 (令和2年3月～4年3月)



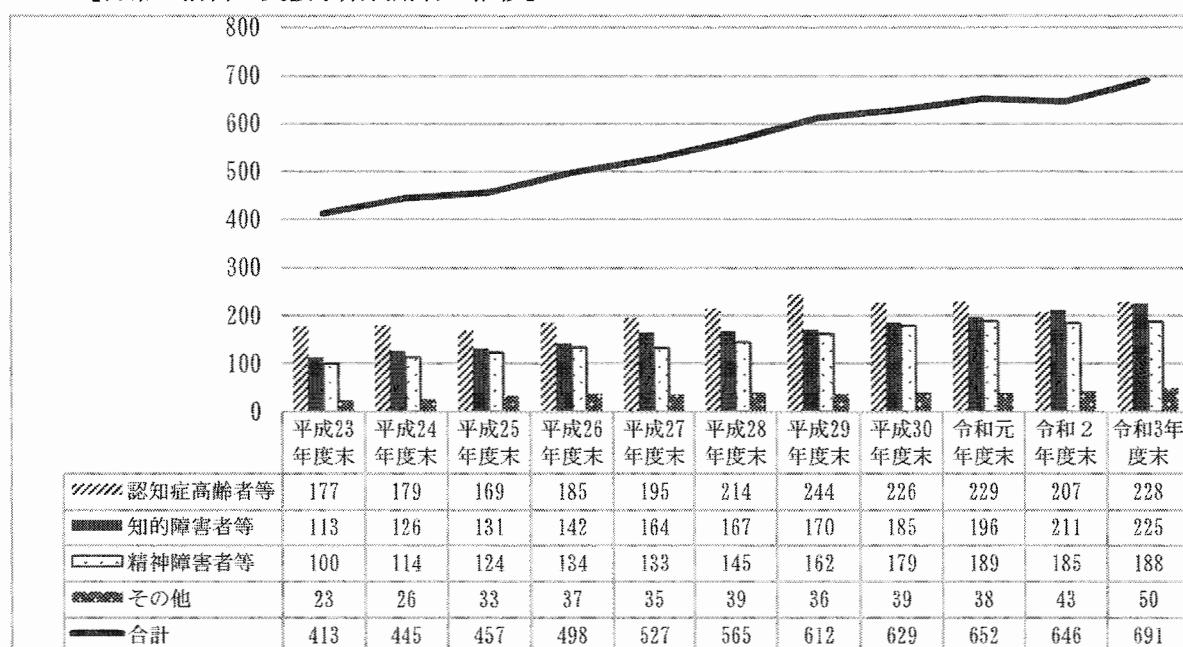
令和2年3月25日から令和4年3月31日までの市町社協別 特例貸付実績

	緊急小口資金		総合支援資金(初回)		総合支援資金(延長)		総合支援資金(再貸付)		総合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
高松市	4,459	834,640,000	2,313	1,151,000,000	601	250,870,000	929	446,910,000	8,302	2,683,420,000
丸亀市	1,423	271,160,000	739	373,220,000	194	84,080,000	268	135,600,000	2,624	864,060,000
坂出市	343	64,470,000	166	83,660,000	23	10,050,000	62	31,620,000	594	189,800,000
善通寺市	345	65,200,000	183	92,030,000	49	21,120,000	80	40,160,000	657	218,510,000
観音寺市	459	87,650,000	221	113,580,000	44	19,870,000	76	39,110,000	800	260,210,000
さぬき市	271	50,890,000	145	75,610,000	31	13,910,000	61	31,470,000	508	171,880,000
東かがわ市	129	23,450,000	55	29,100,000	13	5,950,000	18	9,150,000	215	67,650,000
三豊市	326	62,020,000	167	87,300,000	34	17,000,000	56	30,000,000	583	196,320,000
土庄町	68	12,600,000	35	16,310,000	13	6,150,000	14	6,840,000	130	41,900,000
小豆島町	83	15,850,000	36	18,105,000	10	4,650,000	13	7,200,000	142	45,805,000
三木町	133	25,650,000	67	35,150,000	13	6,500,000	18	9,300,000	231	76,600,000
直島町	12	2,400,000	3	1,800,000	0	0	1	600,000	16	4,800,000
宇多津町	188	35,350,000	86	44,670,000	17	7,060,000	29	14,800,000	320	101,880,000
綾川町	115	22,000,000	77	39,590,000	19	9,810,000	23	12,300,000	234	83,700,000
琴平町	138	25,550,000	80	37,200,000	30	12,390,000	30	13,530,000	278	88,670,000
多度津町	285	55,550,000	156	77,980,000	32	13,820,000	80	39,780,000	553	187,130,000
まんのう町	126	24,350,000	67	34,940,000	11	4,560,000	27	13,440,000	231	77,290,000
合計	8,903	1,678,780,000	4,596	2,311,245,000	1,134	487,790,000	1,785	881,810,000	16,418	5,359,625,000

1－2 地域における権利擁護の推進

(1) 日常生活自立支援事業においては、関係機関と連携しながら県内全市町社協で事業を実施することで、地域に密着したサービスの提供を行い、事業の定着に努めた。県内全ての市町において利用実績があり、令和3年度末利用者は691名（令和2年度末646名、前年度比1.07倍）であり、前年度に比べ利用者数が45名増加し、本事業に関する相談・問い合わせ件数も約2,500件増加した。

【日常生活自立支援事業利用者の推移】



(2) 権利擁護に関わる関係機関・団体と協働し、「かがわ後見ネットワーク」を運営し、成年後見制度に関する協議を行うとともに、専門職相談会の開催や人材養成研修会、講師派遣や出張相談、地域担当制の実施等にも取り組んだ。また、成年後見制度利用促進法への対応については、「かがわ後見ネットワーク」が県全体の中核機関（支える中核）を担うこととしており、各市町や圏域での協議に積極的に参加し、令和4年度当初には17市町全てで成年後見制度利用促進における中核機関が設置される状況となった。次年度以降は、設置された中核機関の機能の充実強化が課題である。

1－3 多機関協働・地域づくり・参加支援のための取組の推進

(1) 市町の包括的支援体制整備の支援を目的として、重層的支援体制整備事業都道府県による後方支援事業を県から受託し、事業の概要やソーシャルワーク機能、先進地事例を学ぶ研修会等を実施するとともに、県内各市町の状況調査を行った。

研修会の参加対象を各市町及び市町社協として、地域共生社会の実現に向けた共通理解を持つよう努めるとともに、令和4年度以降の取組を検討している市町を対象として、市町同士の意見交換や厚生労働省の担当課との情報交換を実施することができた。また令和4年度も継続して取り組む後方支援のあり方について検討することができた。

(2) 地域における公益的な取組である「香川おもいやりネットワーク事業」は、地域の中で、社会福祉法人施設、社協、民生委員・児童委員がつながって、地域の課題を解決するために、総合相談・支援事業の実施、地域における居場所づくり、地域における権利擁護を推進するための取り組みを順次進めた。総合相談・支援事業から見えてきた課題への対応として、居場所づくり等の取組である「認定事業」については18事業を実施した。また、居住支援の一環としての入居債務保証支援モデル事業を実施した。各市町において地域ネットワーク会議等を開催し、お互いの顔が見える関係の構築、地域の生活課題・福祉課題の共有、それらに対応する仕組みづくりに向けて協議を行った。その結果、各市町で事例検討や災害時の支援体制整備、地域の包括的支援体制整備の取組が進んでいる。

一方で、長引くコロナ禍において、職員や地域住民が集まって会議やイベント等を開催することが難しく、今後の取組をどう進めていくかが課題である。

(3) 高齢者いきいき案内所では、住民の地域活動への参加を促進するため、コロナ禍において講義動画の視聴など実施方法の見直しを行うなどの対応をしながら、傾聴や読み聞かせボランティア養成のための研修や登録者同士の情報交換の場を積極的に設けた。

(4) 香川県子どもの未来応援ネットワーク事業では、研修会の開催や交流会などを通じて、子どもの支援における地域のネットワークづくりに取り組んだ。また、子どもへの直接的な支援として、「支援の場」の運営団体、市町社協、県教育委員会事務局、金融機関、大学生等の多様な人・団体・機関の参画を得て、検討会を行い、令和4年度以降に実施する子どものための金銭教育ワークショップのプログラム

を作成することができた。

- (5) 民生委員・児童委員を対象とした県全体の研修会では、オンライン等を活用するとともに、複数の場所に分け、少人数で集まることにより、コロナ禍においても中止することなく実施することができたが、県全体、各単位民児協でも、委員同士が実際の活動についての意見交換や情報交換をする場が少なく、委員同士のつながりの希薄化や委員活動の充実という点では、次年度以降の研修の実施方法は課題である。

1－4 県内市町社協との連携・協働による地域福祉の推進

市町社協常務理事・事務局長会議の開催のほか、「ニーズ対応型社協活動の推進とその組織体制の確立に向けた第2次アクションプラン（令和2年度～4年度）」における県全体の活動方針と18社協の強化発展計画に基づく地域福祉実践に取り組んだ。

また、地域福祉推進委員会、企画委員会においては、第3次アクションプラン策定に向けて、地域共生社会の実現に向けた社協の役割についての協議を深めた。

特に、企画委員会においては、第3次アクションプランにおける重点項目として、「災害対応」、「社協経営・人材育成」、「活動」の3つのテーマを設定し、県内社協全体の方向性を協議した。

2 災害福祉支援ネットワークの構築

災害福祉支援ネットワークの構築

- (1) 県内の施設関係団体、職能団体等21の機関・団体で構成する「香川県災害福祉支援ネットワーク協議会」において、災害発生時に一般避難所等で要配慮者への支援を行う「香川県災害派遣福祉チーム」（香川DWAT）の登録研修を行い、新たにチーム員（支援隊）15名の登録を行った。

香川県災害派遣福祉チーム〔香川DWAT〕登録者数（令和4年3月末現在）

先遣隊（人）	支援隊（人）	合計（人）
19	36	55

- (2) 香川県災害派遣福祉チーム（香川DWAT）の組成や活動訓練を実施するとともに、香川DWATのワーキンググループを設置し、チーム員が主体的に活動に取り組み、災害時に迅速に活動できるよう体制整備に取り組んだ。

また、大規模災害発生時に、県内の社会福祉法人をはじめ、社協や福祉関係機関・団体等が迅速かつ円滑に連携した支援活動を行うことができるよう、香川県社会福祉法人経営者協議会と連携して、災害時に必要な器材を購入し、各圏域で保管を行った。

- (3) 県内の社会福祉施設等の災害対応力の向上を図るため、災害福祉支援コーディネーターを配置し、福祉施設等における事業継続計画（BCP）策定研修等を開

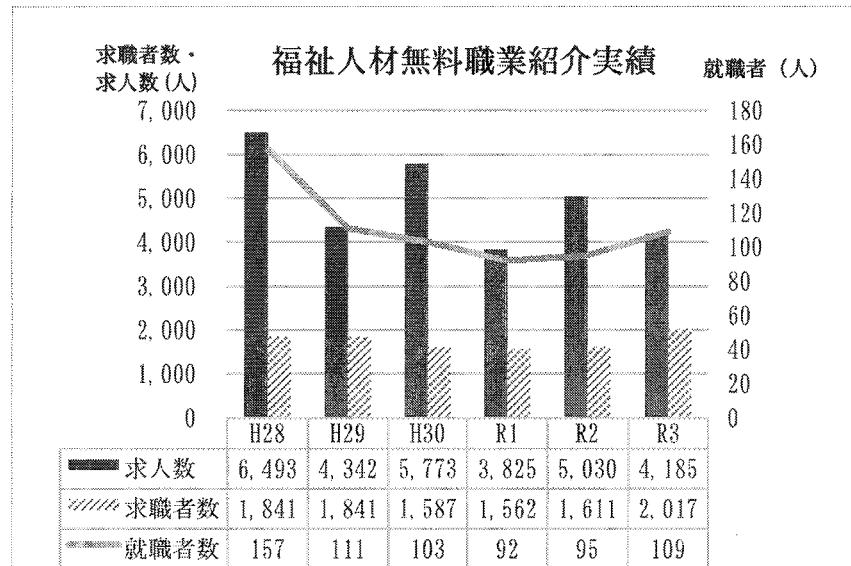
催した。

- (4) 災害ボランティア研修等を実施し、県内の社協や社会福祉施設・団体と日ごろからの地域福祉活動の重要性を共有するとともに、当協議会と災害時支援協定を締結している日本青年会議所香川ブロック協議会、ライオンズクラブと今後の県内社協との連携協働に向けて意見交換を行った。

3 福祉人材確保・育成・定着

3-1 福祉人材センター事業の充実・強化

- (1) 福祉人材無料職業紹介所として、求人、求職の相談、登録、紹介を行うとともに、インターネットの福祉人材情報システムを活用して求人情報を周知した。今年度の求人数は、昨年度の 5,030 人を 845 人下回り 4,185 人であり、求職者数は、昨年度の 1,611 人を約 400 人上回り 2,017 人であった。また、就職者数は昨年度に比べ 14 人増の 109 人であった。



- (2) 県内の新型コロナウイルスの感染拡大により、オンライン上で県内の福祉施設・事業所の求人情報や職場の魅力等を紹介し、福祉職に関心のある方へ情報発信を行った。福祉の仕事の魅力や福祉施設・事業所の取組をオンライン上で広く紹介することにより、養成校の学生や実務者研修受講生など 48 名が視聴参加した。また、その後開催した対面形式での職場説明会には 15 事業所が参加し、28 名の参加があった。

3-2 福祉・介護マンパワーの確保

- (1) 福祉・介護人材マッチング機能強化事業として、中讃及び高松地域で福祉のしごとサポートフェアを開催した。中讃地域のサポートフェアでは、介護福祉士養成校と連携し、養成校の学生が授業の一環としてフェアに参加した。また、高松地域でのサポートフェアは、県内の新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い、対面

形式を中止しオンライン上で県内の福祉施設・事業所の求人情報や職場の魅力等の紹介を行った。25事業所が参加し、33名の視聴参加があった。

- (2) 保育士就職支援事業として、専門員を配置し、潜在保育士等に対する就職相談・あつ旋を行った。また、香川県等と連携して、保育士を対象とした就職フェアや潜在保育士に対する再就職支援セミナーを開催し就職支援に取り組んだ。
- (3) 令和2年度から、県の受託事業として開始した介護現場における多様な働き方導入モデル事業では、介護現場において、「多様な人材層（若者・女性・高齢者等）」をターゲットとした多様な働き方による効率的な事業運営をモデル的に行い、その成果を他の介護事業所等の参考にしてもらうための事業を実施した。県内の介護事業所のうち5事業所でモデル事業を実施し、介護助手が10名採用された。

3－3 資格取得支援等事業の推進

- (1) 質の高い介護福祉士又は社会福祉士の養成確保を目的として、香川県内及び県外の介護福祉士・社会福祉士養成施設に在学する学生に対し、修学資金の貸付けを実施した。また、令和3年度から開始した介護分野及び障害福祉分野就職支援金の貸付事業では、他業種等で働いていた4名が介護分野に就労することにより、介護職の人材の確保につながった。

〔令和3年度新規貸付決定者分〕

資金の種類	人数	貸付決定額(円)
介護福祉士修学資金	60人	95,217,020円
福祉系高校修学資金【新規】	一	一
介護福祉士実務者研修受講資金	41人	7,391,500円
離職介護人材の再就職準備資金	2人	800,000円
介護分野及び障害福祉分野就職支援金【新規】	4人	800,000円

- (2) 質の高い保育士の養成確保を目的として、香川県内の保育士養成施設の学生に対して修学資金の貸付けを実施した。また、潜在保育士の再就職支援として、未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付や就職準備金の貸付等を実施した。

〔令和3年度新規貸付決定者分〕

資金の種類	人数	貸付決定額(円)
保育士修学資金	28人	41,581,200円
保育補助者雇上費貸付金	1事業所	2,465,000円
未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付金	22人	4,693,071円
就職準備金貸付金	3人	963,549円

4 社会福祉法人・施設等への支援と福祉サービスの質の向上

4－1 社会福祉法人・施設等への支援

- (1) 令和3年度は県内の民間社会福祉施設職員等を対象とした階層別研修などを3回開催するとともに、施設関係団体が実施する研修事業に対して200,000円の助成を行った。
- (2) 小規模社会福祉法人等が参画するネットワークを構築し、協働事業を行う「小規模社会福祉法人等のネットワーク化推進事業」を実施した。令和3年度は、2つのネットワークが地域貢献のための協働事業や人材確保、災害対策などの取り組みを行った。
- (3) 高齢者施設において、新型コロナウイルス感染症の発生により職員が不足する施設に対し、他の施設から応援職員を派遣する新型コロナウイルス施設間応援事業では、検討会を1回開催し、応援派遣の課題検討やコロナ対策への情報共有を行った。

新型コロナウイルス施設間応援事業 協力施設の登録状況（令和4年3月末現在）

法人数	62	(内訳)	
		社会福祉法人	39
		医療法人	11
		株式・有限会社	11
		その他	1
施設数		132	

- (4) 全国社会福祉協議会種別協議会及び県内社会福祉施設・団体との連携を図るとともに、本会で事務局を担当している各種別協議会5団体（香川県社会福祉法人経営者協議会、香川県老人福祉施設協議会、香川県保育協議会、香川県社会福祉法人経営青年会、香川県福祉施設士会）の事業の運営、業務の推進に協力した。

4－2 福祉サービス苦情解決事業の推進

- (1) 福祉サービス運営適正化委員会（委員12名）を設置し、あわせて同委員会に運営監視合議体（委員8名）と苦情解決合議体（委員5名）を置くことで、県社協・市町社協が行う日常生活自立支援事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービス利用者等からの苦情申出を受け、適切な解決に取り組んだ。
- (2) 各合議体において、「日常生活自立支援事業の運営監視、当該事業者への助言・勧告」及び「苦情申出に対する相談対応と助言、福祉サービス事業者への適切な対応の申入れ、関係機関の紹介等」を行った。
- なお、令和3年度は、運営監視の現地調査を9市町社協で実施し、苦情・相談

受付件数は77件（平成2年度77件）であった。

- (3) 福祉施設・事業所における苦情解決体制の充実を図るために、事業者向けの苦情解決に関する研修会（オンライン講演会）を開催した。

5 法人組織体制の強化と人材育成

5-1 法人経営と事務局運営体制の強化

- (1) 今後の目指すべき県社協の姿や地域福祉推進のための具体的な活動・行動計画を示すため、平成30年6月に策定した「香川県社会福祉協議会第2次強化発展計画」に基づき各事業に取り組んだ。また、令和3年度事業の実施状況について進行管理と評価を行った。「香川県社会福祉協議会第2次強化発展計画」については、これまでの評価内容とコロナ下の現状を踏まえ、計画の最終年にあたる令和4年度に第3次強化発展計画の策定に取り組むこととする。
- (2) 会務の運営として、理事会5回（内、2回は決議の省略）、評議員会4回（内、2回は決議の省略）、監事會1回、評議員選任・解任委員会1回開催し、年度事業の計画、報告、予算、決算等について審議が行われた。

5-2 職員の人材育成と組織体制の強化

- (1) 職員の人材育成への取り組みとして、社会福祉士、精神保健福祉士の資格取得を促進（受講費等の助成）するとともに、専門的研修を受講し専門性の向上を図った。令和3年度末の社会福祉士資格取得者は、総合職18名中14名、精神保健福祉士資格取得者は3名である。
- (2) 「香川県社会福祉協議会第2次強化発展計画」に基づき、地域福祉課で職員の地区担当制を実施するとともに、課題別職員ワーキンググループでは、ICT化推進グループと広報グループを設置し、オンライン会議・研修のマニュアル作成やホームページ改修内容の確認等に取り組んだ。

5-3 広報機能の充実・強化

- (1) 機関紙「福祉香川」（年1回）の発行や、本会ホームページを通じて、社会福祉に関する情報、行事情報、ボランティア募集情報、助成金募集等を提供した。
- (2) 第68回香川県社会福祉大会を令和3年10月19日にサンポートホール高松で開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者を受賞者に限定し、式典・表彰を行った。受賞者の参加は73名であった。
- (3) 児童福祉月間や老人の日・老人福祉週間等、各社会福祉に関する啓発運動に努めた。また、機関紙「福祉香川」等を通じて、共同募金運動の趣旨の普及と協力の呼びかけを行った。
- (4) 本会で事務局を担当している香川県ソーシャルワーカー協会、香川県民生委員

児童委員協議会連合会、香川コミュニティソーシャルワーク実践研究会、特定非営利活動法人後見ネットかがわ、特定非営利活動法人フードバンク香川の事業の運営、業務の推進に協力した。

- (5) 教員免許特例法による介護等体験事業における受入施設等の調整を行った。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、受入施設は8施設、参加学生は19名であった。

○ 事業実施状況

1 県・圏域・市町における包括的な支援体制の構築に向けた取組

1-1 包括的な相談支援体制の構築

1 生活困窮者自立支援事業の実施（自立相談支援事業・家計改善支援事業）

（1）相談支援員の配置と町社協との連携協働による事業実施

必須事業である自立相談支援事業については各町社協と「香川県生活困窮者自立支援協議会」を設置し、昨年度に引き続き、県から事業を受託した。主任相談支援員を県社協に、相談支援員を各町社協に配置、関係機関・団体と連携・協働しながら、複雑・多様な生活課題・福祉課題を抱える相談者への支援に取り組んだ。

任意事業である家計改善支援事業については、家計改善支援員を県社協に配置、家計支援を通して、相談者の生活の安定に取り組んだ。

また、相談業務担当者会や連絡会を開催し、県内の担当者のスキルアップや実施体制の強化に努めた。

（2）相談・支援状況について

ア 相談受付件数（本人未特定含む）

（単位：件）

		土庄	小豆島	三木	直島	宇多津	綾川	琴平	多度津	まんのう	計	累計※
自立相談	新規相談	12	22	38	3	28	46	39	112	56	356	1,366
	プラン作成	0	1	4	0	4	2	7	1	1	20	179
家計相談	新規相談	1	1	0	1	0	2	2	2	1	10	174
	プラン作成	0	0	0	0	0	2	3	0	0	5	61

※累計：平成27年4月～令和4年3月

イ 初回相談内容（複数回答あり）

相談内容	件数	割合 (%)	相談内容	件数	割合 (%)
病気や健康、障害のこと	34	6.7	地域との関係について	0	0.0
住まいについて	15	2.9	家族との関係について	7	1.4
収入・生活費のこと	321	62.9	子育てのこと	6	1.2
家賃やローンの支払いのこと	31	6.1	介護のこと	3	0.6
税金や公共料金等の支払いについて	23	4.5	ひきこもり・不登校	4	0.8
債務について	9	1.7	DV・虐待	1	0.2
仕事探し、就職について	32	6.3	食べるものが無い	9	1.8
仕事上の不安やトラブル	12	2.3	その他	3	0.6

ウ 家計改善支援実施状況

	土庄	小豆島	三木	直島	宇多津	綾川	琴平	多度津	まんのう	計
本人面談回数	0	0	0	0	3	19	4	1	0	27

(3) 支援調整会議等各種会議等への参加

支援調整会議への参加

回	開催日	社協名	場所	調整件数	参加者
1	令和3年9月2日	宇多津町 多度町 まんのう町	中讃保健福祉事務所	プラン4件	14名
2	9月6日	三木町	東讃保健福祉事務所	プラン1件 終結1件	7名
3	11月15日	琴平町	中讃保健福祉事務所	プラン5件 終結1件	8名

2 生活困窮者自立支援事業の円滑な実施に向けた取組

(1) 担当者会・各種研修会・事例検討会の開催

相談業務担当者定例会の開催

生活福祉資金貸付事業、日常生活自立支援事業、生活困窮者自立相談支援事業等、相談業務に携わる職員を対象に、総合相談・支援事業のさらなる充実や困難事例への対応について、社協全体で取り組めるよう、各事業の取組を理解し、社協内での連携を深めるとともに、担当者の資質向上や様々な社会資源とのつながりを構築することを目的に開催した。

開催日	内容	開催場所	参加者
令和3年5月17日	○事業説明 ○各事業意見交換		28名
8月18日	○「法テラスの業務説明・司法との連携」について ○「債務整理の基礎知識・法的問題」について 講師 法テラス香川法律事務所弁護士 上原 みづほ 氏 法テラス香川地方事務所主任 楳山 ゆめか 氏	香川県社会 福祉総合セ ンター・オ ンライン	30名

開催日	内容	開催場所	参加者
11月25日	○映画「PRISON CIRCLE」上映会・意見交換会 講師 高松市障がい者基幹相談支援センター 川村 圭 氏 香川県地域生活定着支援センター 福家 伸次 氏	香川県社会福祉総合センター・オンライン	18名
令和4年 2月17日	○事例検討会～ひきこもり支援の視点と見立て～ 講師 一般社団法人 hito.toco 代表理事 宮武 将大 氏		22名

(2) 特定非営利活動法人フードバンク香川事務局の運営

企業・団体から食品の提供・寄付をいただき、社会福祉施設や生活困窮者支援団体等に提供するコーディネートを行い、食品ロスの削減と「食品」を介して支え合いの地域づくりの推進に取り組んだ。

3 居住支援法人活動支援事業の実施

住宅相談など住宅への円滑な入居に係る情報提供や相談、家賃債務保証など、香川おもいやりネットワーク事業と一体的に取り組んだ。

4 生活福祉資金貸付事業の実施

(1) 生活福祉資金貸付制度の周知と適正な貸付の推進

総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金、臨時特例つなぎ資金の貸付制度を広く県民に理解してもらうことを目的として、市町社会福祉協議会、福祉事務所、関係機関等を通じ、当協議会職員が研修会等に参加し制度の説明をする等、相談及び指導を行った。

また、令和2年度から引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響によって休業になったり仕事が減ったことで収入が減少した世帯に対し、緊急小口資金の特例貸付を実施し、2,827件の貸付を行うとともに、その収入減少が長期にわたることで日常生活の維持が困難な世帯に生活の立て直しまでの一定期間支援を行う総合支援資金の特例貸付を実施し、4,312件の貸付を行った。

① 生活福祉資金貸付・償還相談会開催状況について

- ア 貸付・償還相談会 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、未開催
- イ 個別相談・訪問 延べ6日

② 制度説明会等の開催

- ア 緊急小口資金等の特例貸付等に関する市町社協担当者会〔第1回〕

- ・ 開催日 令和3年6月24日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 26名

- イ 緊急小口資金等特例貸付に関する常務理事・事務局長会議

- ・ 開催日 令和 3 年 9 月 3 日
- ・ 場 所 オンライン
- ・ 参加者 29 名

ウ 生活福祉資金・地域福祉等担当者合同会議

(市町社協地域福祉・生活福祉資金・生活困窮者自立支援事業 担当課長及び担当職員等連絡会と合同)

- ・ 開催日 令和 3 年 11 月 25 日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 43 名

エ 第 1 回 市町社会福祉協議会常務理事・事務局長等会議

- ・ 開催日 令和 3 年 12 月 24 日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 41 名

オ 第 2 回 市町社会福祉協議会常務理事・事務局長等会議

- ・ 開催日 令和 4 年 2 月 21 日
- ・ 開催方法 香川県社会福祉総合センター及び一部オンライン会議
- ・ 参加者 27 名

カ 緊急小口資金等の特例貸付等に関する市町社協担当者会〔第 2 回〕

(特例貸付における償還開始の延長等の案内通知に関する連絡会議)

- ・ 開催日 令和 4 年 3 月 3 日、3 月 9 日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 延べ 43 名

キ 緊急小口資金等の特例貸付等に関する市町社協担当者会〔第 3 回〕

(特例貸付における償還開始の延長等の案内通知に関する連絡会議)

- ・ 開催日 令和 4 年 3 月 29 日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 41 名

ク 関係機関向け制度説明会の開催

開催日	説明会名	実施市町
令和 3 年 5 月 13 日	福祉事務所初任現業員研修会	高松市

ケ 相談業務担当者定例会の開催

内容については、「1-1-2 生活困窮者自立支援事業の円滑な実施に向けた取組（1）担当者会・各種研修会・事例検討会の開催」で記載のとおり。

（2）生活福祉資金の適正な貸付

- ① 地域福祉施策の一環として、生活福祉資金貸付制度の周知に努めるとともに、貸付審査等運営委員会を 4 回開催（うち、1 回は持回り審査）し、借入申込、償還金支払免除等の審査をした。
- ② 本則の貸付決定は、福祉資金で 222 件・15,766 千円、教育支援資金で 81 件・55,345 千円、臨時特例つなぎ資金で 42 件・1,885 千円であった。

なお、総合支援資金及び不動産担保型生活資金はいずれも 0 件。

- ③ コロナ特例貸付については緊急小口資金が 2,827 件・546,770 千円、総合支援資金が 4,312 件・2,220,060 千円であった。
- ④ 県民に対するコロナ特例貸付の広報活動としてホームページを延べ 6 回更新し、総合支援資金の延長貸付や再貸付の受付期間の終了及び、緊急小口資金、総合支援資金初回貸付の申請期間の延長、さらには両資金の据置期間延長等について広報を行った。

(3) 債権管理の強化

滞納者償還相談会については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未開催であったが、長期滞納世帯の状況把握と償還督促については、個別面談及び文書の送付、電話等によって行い、適切な債権管理に努めた。

(4) 不良債権の整理

生活福祉資金

① 債還金支払免除	4 件	
(内 訳) ア 元金		526,103 円
イ 貸付利子		25,631 円
ウ 延滞利子		183,457 円
② 延滞利子の支払免除	5 件	8,248,895 円
③ 欠損補てん積立金の状況		

令和 3 年度当初積立額	253,128,003 円
貸付原資取崩額	15 円
普通預金利息	15 円
小 計	253,128,018 円
当年度戻入額	526,103 円
差引残額（令和 3 年度末積立額）	252,601,915 円

(5) 借入申込及び貸付決定状況

[令和 3 年度生活福祉資金等申込及び貸付決定状況（通常貸付分）]

資金の種類	申込状況 A			決定状況 B			比率 B / A	
	件数	平均	金額	件数	平均	金額	件数	金額
総合支援資金	件 0	千円 0	千円 0	件 0	千円 0	千円 0	% -	% -
福 祉 資 金	234	79	18,486	222	71	15,766	94.9	85.3
教育支援資金	85	716	60,826	81	683	55,345	95.3	91.0
不動産担保型 生活資金	0	0	0	0	0	0	-	-
要保護世帯向け 不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	0	-	-
合 計	319	249	79,312	303	235	71,111	95.0	89.7

[令和3年度生活福祉資金等申込及び貸付決定状況（特例貸付分）]

資金の種類	申込状況 A			決定状況 B			比率 B/A	
	件数	平均	金額	件数	平均	金額	件数	金額
総合支援資金	件 4,729	千円 511	千円 2,417,360	件 4,312	千円 515	千円 2,220,060	% 91.2	% 91.8
緊急小口資金	3,102	193	599,920	2,827	193	546,770	91.1	91.1

[令和3年度臨時特例つなぎ資金申込及び貸付決定状況]

資金の種類	申込状況 A			決定状況 B			比率 B/A	
	件数	平均	金額	件数	平均	金額	件数	金額
臨時特例つなぎ資金	件 44	千円 44	千円 1,955	件 42	千円 45	千円 1,885	% 95.5	% 96.4

(6) 貸付・償還状況

[令和3年度生活福祉資金貸付・償還状況]

資金の種類	貸付額		未償還金 残額	償還計画 3年度分	償還済額		償還率 %
	3年度分	累計			3年度分	累計	
総合支援資金 (通常)	千円 0	千円 363,509	千円 209,357	千円 190,440	千円 5,313	千円 158,532	% 2.78
総合支援資金 (特例貸付)	2,378,955	3,599,485	3,595,105	令和5年1月以降償還開始となるため計上しない。			
更生資金	0	3,042,682	157,877	162,128	4,252	2,884,805	2.62
障害者更生資金	0	1,041,359	17,554	18,131	557	1,023,805	3.18
生活資金	0	72,882	946	950	4	71,936	0.46
福祉資金(旧制度含む)	9,551	489,999	57,335	35,579	5,761	432,664	16.19
住宅資金	0	1,671,431	8,213	8,371	158	1,663,218	1.88
修学資金・教育支援資金	42,947	1,169,552	159,026	40,838	13,955	1,010,526	34.17
療養・介護等資金	0	116,790	871	908	37	115,919	4.08
災害援護資金	0	80,100	3,457	3,473	16	76,643	0.46
緊急小口資金 (通常)	10,872	220,608	23,037	38,933	16,258	197,571	41.75
緊急小口資金 (特例貸付)	558,100	1,675,280	1,664,131	令和5年1月以降償還開始となるため計上しない。			
離職者支援資金	0	46,605	9,240	9,414	754	37,365	7.55
合計	3,000,425	13,590,282	5,906,149	509,165	47,065	7,672,984	9.24
不動産担保型支援資金	0	11,253	0	0	0	11,253	-
要保護世帯向け 不動産担保型支援資金	3,738	103,862	81,578	0	7,200	22,284	-
合計	3,004,163	13,705,397	5,987,727	509,165	54,265	7,706,521	10.65

*貸付額は、本年度中に決定したものと、過年度中に決定し、分割して交付中のものを含む。

[令和3年度 臨時特例つなぎ支援資金貸付・償還状況]

資金の種類	貸付額		未償還金 残額	償還計画 3年度分	償還済額			償還率 %
	3年度分	累計			3年度分	累計		
臨時特例つなぎ資金	千円 1,805	千円 38,600	千円 7,096	千円 8,935	千円 1,839	千円 31,475		20.58

5 子育てが困難な状況にある家族及びその子ども等への支援

子育てが困難な状況にある家族及びその子ども等の自立の実現のため、児童養護施設退所者等に対する自立支援資金の貸付や、ひとり親家庭の親に対する高等職業訓練促進資金の貸付を行い、自立を支援した。

(1) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業の実施

- ① 貸付業務の広報周知のため貸付事業の手引を作成し、香川県子ども家庭課を通じ、児童養護施設等に配布した。
- ② 貸付対象者審査委員会を開催し、貸付対象者を決定した。
 - ・ 開催日 令和4年3月18日
 - ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
 - ・ 内 容 貸付決定 7名
- ③ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付
 - ・ 生活支援費 3件 5,400,000円
 - ・ 生活支援費（コロナ特例） 1件 960,000円
 - ・ 家賃支援費 6件 3,984,000円

(2) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施

- ① 貸付業務の広報周知のため貸付事業の手引を作成し、各福祉事務所に配布した。
- ② 貸付対象者審査委員会を開催し、貸付対象者を決定した。
 - ・ 開催日 令和3年7月15日
 - ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
 - ・ 内 容 貸付決定 5名
- ③ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付
 - ・ 入学準備金 4件 2,000,000円
 - ・ 就職準備金 1件 200,000円

(3) ひとり親家庭住宅支援資金貸付事業の実施

- ① 貸付業務の広報周知のため貸付事業の手引を作成し、各福祉事務所に配布した。
- ② 隨時審査をし、下記のとおり貸付対象者を決定した。
- ③ ひとり親家庭住宅支援資金貸付
貸付決定 5件 2,400,000円

1－2 地域における権利擁護の推進

1 日常生活自立支援事業の実施

(1) サービス実施体制の整備と相談機能の強化

県内全市町社協と業務委託契約を締結した。適正な事業の実施のため、事業に従事する職員を配置し、研修会を開催するとともに、本事業の一層の円滑な利用を図るため、各関係機関へパンフレットを配布し、事業の周知を行った。専門員は 57 人、生活支援員は 192 人である。(令和 4 年 3 月 31 日現在)

① 相談業務担当者定例会の開催（専門員研修会の開催）

内容については、「1-1-2 生活困窮者自立支援事業の円滑な実施に向けた取組(1)
担当者会・各種研修会・事例検討会の開催」で記載のとおり。

② 専門員研修会

ア 権利擁護事業担当者会

- ・開催日 令和 3 年 7 月 12 日
- ・場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・参加者 34 名
- ・内 容 ○各市町日常、法人後見、市民後見人養成や成年後見制度利用促進法
への対応状況について
○日常生活自立支援事業、法人後見等実施上の課題等について
○その他

イ ブロック別生活支援員研修会

ブロック	開催日	場所	内 容	参加者
西会場	令和 4 年 3 月 14 日	丸亀市保健 福祉センタ ー	①事業報告 日常生活自立支援事業実施状況について ②講義 「かかわりの視点～権利擁護と生活支援～」 講師 四国学院大学 社会福祉学部 教授 西谷 清美 氏	32 名
東会場	3 月 15 日	香川県社会 福祉総合セ ンター		12 名

(2) 事業に関する機関・団体との連携

香川県社会福祉士会、香川県精神保健福祉士協会、香川県司法書士会等と勉強会を開催した。また、関係する機関の会議へ参加し、本事業の円滑な推進に努めた。

① 勉強会等の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
令和 3 年 9 月 25 日	香川県社会 福祉総合セ ンター	勉強会（オンライン開催） 「身上保護に関する勉強会」 講師：司法書士 中西 健 氏 社会福祉士 高橋 順子 氏 精神保健福祉士 村山 雅子 氏	40 名

開催日	場 所	内 容	参加者
令和4年 2月 19日	香川県社会 福祉総合セ ンター	勉強会（オンライン開催） 「PSWの関わりの中で、大切にしていること」 講師：地域活動支援センター クリマ 精神保健福祉士 松下 瑞季 氏	27名

② 高齢者や障がい者のあんしん相談会の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
令和3年 11月 20日	サンポートホール 高松	「第32回高齢者や障がい者のあんしん相 談会」	相談件 数：1

(3) 事業の適正な運営の確保

契約締結審査会を定期的に開催し、契約締結能力に疑義が生じた場合、支援内容を変更する場合等、審査・助言を専門家から受け、利用者に適切な支援を行った。

また、運営適正化委員会（運営監視合議体）の現地調査（9か所：坂出市、善通寺市、東かがわ市、三豊市、小豆島町、直島町、宇多津町、琴平町、まんのう町社協）への協力や事業の実施状況報告を行い、事業の透明性・公正性に努めた。

○契約締結審査会の開催

審査、助言を受けたケースは5ケースであった。開催回数は3回であった。

回	開催日	場 所	内 容
第1回	令和3年 6月 10日	香川県社会 福祉総合セ ンター	①助言依頼「本事業における高額な出金依 頼への対応について」 ②助言依頼「本事業における世帯支援への 対応について」
第2回	8月 26日		①助言依頼「本事業における今後の支援に ついて」 ②助言依頼「本事業における初回の契約締 結について」
第3回	10月 7日		①助言依頼「本事業における今後の支援に ついて」

(4) 相談、契約業務の状況

全県下相談・契約の状況は以下のとおりである。（令和3年度件数）

① 相談・問い合わせ件数

社協名	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認 知 症 高齢者等	知 的 障害者等	精 神 障害者等	不 明		
高松市社協	2,062	3,497	3,482	652	1	9,694
丸亀市社協	1,009	420	625	122	0	2,176
坂出市社協	212	439	433	121	0	1,205

社協名	本事業の利用に関するもの				その他	合計
	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明		
普通寺市社協	534	1, 866	830	210	0	3, 440
観音寺市社協	809	1, 726	843	125	0	3, 503
さぬき市社協	1, 458	979	776	19	6	3, 238
東かがわ市社協	296	158	1, 514	71	0	2, 039
三豊市社協	2119	1, 147	1, 993	832	0	6, 091
土庄町社協	149	461	147	15	0	772
小豆島町社協	88	32	187	21	0	328
三木町社協	105	242	172	133	0	652
直島町社協	96	0	0	0	94	190
宇多津町社協	747	393	741	168	2	2, 051
綾川町社協	720	450	383	149	0	1, 702
琴平町社協	233	0	132	81	0	446
多度津町社協	418	187	273	0	0	878
まんのう町社協	11	40	38	14	0	103
県社協	31	10	11	44	0	96
合 計	11, 097	12, 047	12, 580	2, 777	103	38, 604
令和 2 年度合計	10, 016	10, 612	13, 081	2, 273	90	36, 072
令和元年度合計	10, 824	10, 674	11, 763	2, 268	186	35, 715
令和 30 年度合計	11, 451	9, 608	10, 580	2, 163	142	33, 944
平成 29 年度合計	11, 720	8, 740	9, 183	1, 719	221	31, 583
平成 28 年度合計	9, 682	8, 562	9, 124	2, 217	259	29, 844
平成 27 年度合計	9, 249	7, 383	9, 072	1, 734	193	27, 631
平成 26 年度合計	9, 307	6, 769	9, 198	1, 855	150	27, 279
平成 25 年度合計	8, 424	6, 168	7, 835	1, 981	160	24, 568
平成 24 年度合計	6, 735	5, 220	5, 833	1, 320	158	19, 266
平成 23 年度合計	6, 559	4, 717	4, 806	1, 261	96	17, 436
平成 22 年度合計	5, 550	3, 606	4, 187	1, 126	114	14, 583
平成 21 年度合計	4, 667	3, 121	3, 703	888	249	12, 628
平成 20 年度合計	4, 561	2, 871	3, 888	839	128	12, 287
平成 19 年度合計	3, 592	2, 478	2, 065	302	21	8, 458
平成 18 年度合計	2, 956	2, 185	1, 546	273	27	6, 987
平成 17 年度合計	3, 374	1, 889	1, 584	195	46	7, 088
平成 16 年度合計	2, 939	1, 265	1, 223	157	34	5, 618
平成 15 年度合計	1, 951	1, 113	728	89	9	3, 890
平成 14 年度合計	761	198	170	20	20	1, 169

社協名	本事業の利用に関するもの				その他	合計
	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明		
平成 13 年度合計	273	96	81	10	11	471
平成 12 年度合計	89	32	20	9	31	181
平成 11 年度合計	19	6	1	0	0	26

※ 平成 11 年度は平成 11 年 10 月～平成 12 年 3 月 31 日である。

② 契約締結件数

社協名	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
高松市社協	7	9	7	2	25
丸亀市社協	14	2	1	1	18
坂出市社協	3	2	4	2	11
善通寺市社協	1	4	1	0	6
観音寺市社協	8	1	1	1	11
さぬき市社協	9	1	1	0	11
東かがわ市社協	6	0	1	2	9
三豊市社協	11	3	3	3	20
土庄町社協	4	0	1	0	5
小豆島町社協	1	0	1	0	2
三木町社協	0	2	0	0	2
直島町社協	1	0	0	0	1
宇多津町社協	4	0	0	0	4
綾川町社協	6	3	3	2	14
琴平町社協	3	0	1	3	7
多度津町社協	7	0	2	0	9
まんのう町社協	1	1	0	0	2
合計	86	28	27	16	157
令和 2 年度合計	56	35	38	16	145
令和元年度合計	62	41	37	11	151
平成 30 年度合計	54	28	40	11	143
平成 29 年度合計	96	27	38	8	169
平成 28 年度合計	77	30	30	14	151
平成 27 年度合計	72	33	26	4	135
平成 26 年度合計	74	18	30	13	135
平成 25 年度合計	50	16	32	13	111
平成 24 年度合計	56	23	29	11	119
平成 23 年度合計	72	25	21	4	122

社協名	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
平成 22 年度合計	70	24	25	10	129
平成 21 年度合計	52	32	36	6	126
平成 20 年度合計	81	56	56	12	205
平成 19 年度合計	45	35	34	6	120
平成 18 年度合計	49	37	27	7	120
平成 17 年度合計	67	26	26	7	126
平成 16 年度合計	64	23	23	3	113
平成 15 年度合計	62	40	15	5	122
平成 14 年度合計	54	19	13	2	88
平成 13 年度合計	33	15	12	0	60
平成 12 年度合計	13	4	3	0	20
平成 11 年度合計	0	0	0	0	0

③ 利用者数

社協名	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
高松市社協	36	73	48	12	169
丸亀市社協	30	9	12	1	52
坂出市社協	11	24	26	6	67
善通寺市社協	7	11	6	2	26
観音寺市社協	18	29	16	2	65
さぬき市社協	22	8	6	0	36
東かがわ市社協	22	7	8	4	41
三豊市社協	15	15	14	8	52
土庄町社協	5	10	7	1	23
小豆島町社協	1	3	9	0	13
三木町社協	13	12	9	4	38
直島町社協	3	0	0	0	3
宇多津町社協	18	7	8	3	36
綾川町社協	11	9	5	2	27
琴平町社協	4	0	2	4	10
多度津町社協	11	5	11	0	27
まんのう町社協	1	3	1	1	6
合計	228	225	188	50	691
令和 3 年 3 月末	207	211	185	43	646
令和 2 年 3 月末	229	196	189	38	652
令和元年 3 月末	226	185	179	39	629

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
平成 30 年 3 月末	244	170	162	36	612
平成 29 年 3 月末	214	167	145	39	565
平成 28 年 3 月末	195	164	133	35	527
平成 27 年 3 月末	185	142	134	37	498
平成 26 年 3 月末	169	131	124	33	457
平成 25 年 3 月末	179	126	114	26	445
平成 24 年 3 月末	177	113	100	23	413
平成 23 年 3 月末	160	98	94	23	375
平成 22 年 3 月末	135	94	92	17	338
平成 21 年 3 月末	127	88	81	17	313
平成 20 年 3 月末	106	80	57	9	252
平成 19 年 3 月末	92	72	47	11	222
平成 18 年 3 月末	96	60	37	8	201
平成 17 年 3 月末	85	49	30	4	168
平成 16 年 3 月末	65	45	18	4	132
平成 15 年 3 月末	51	18	13	2	84
平成 14 年 3 月末	31	13	10	0	54
平成 13 年 3 月末	13	3	2	0	18
平成 12 年 3 月末	0	0	0	0	0

2 成年後見制度利用支援事業の実施

(1) 相談機能の強化及び関係機関・団体とのネットワーク事業

成年後見制度の利用促進に必要な仕組みや組織づくり、ネットワーク体制の構築等に取り組んだ。特に支える中核としての機能や各市町への関わりについて重点的に協議した。支える中核での協議と各市町での協議への参加を継続した結果、令和 4 年 4 月の時点で、県内 17 市町において、中核機関が設置されることとなった。

【かがわ後見ネットワーク運営協議会の開催】

回数	開催日	場所	協議事項	出席者
第 1 回	令和 3 年 4 月 7 日	香川県社 会福祉総 合センタ ー	・成年後見制度利用促進法への対応について…各市町、圏域での取組みと課題、支える中核の取組について（令和 2 年度の実施状況と令和 3 年度の取組について） ・未成年後見等子どもの権利に関することについて ・その他	23 名

回数	開催日	場所	協議事項	出席者
第2回	7月14日		<ul style="list-style-type: none"> ・各市町、県全体の権利擁護推進に向けた現状と課題について ・未成年後見等子どもの権利に関するこ^とについて ・その他 	24名
第3回	10月13日	香川県社会福祉総合センター	<ul style="list-style-type: none"> ・未成年後見等子どもの権利に関するこ^とについて ・各市町、県全体の権利擁護推進に向けた現状と課題について ①次期成年後見制度利用促進基本計画に係る中間とりまとめについて ②①を踏まえ各市町・県全体の権利擁護推進に向けた現状や課題と今後の取組みについて ・その他 	23名
第4回	令和4年1月12日		<ul style="list-style-type: none"> ・第二期成年後見制度利用促進基本計画の最終とりまとめについて ・令和4年度のかがわ後見ネットワークの取組について ・未成年後見等子どもの権利に関するこ^とについて ・その他 	20名

【講師派遣および出張相談】

香川県弁護士会、成年後見センター・リーガルサポート香川県支部(司法書士会)、香川県社会福祉士会の協力のもと、各機関や団体が実施する権利擁護に関する講演会等への講師派遣、相談会を行った。

○権利擁護に関する専門職相談会の実施

回	開催日	相談者	対応職種	相談内容
1	令和3年4月1日	家族	弁護士、社会福祉士	成年後見制度に関するこ ^と
2	4月15日	家族	弁護士、社会福祉士	成年後見制度に関するこ ^と
3	5月20日	家族・障害相談支援事業所職員	弁護士、社会福祉士	債務整理について
4	5月20日	家族	弁護士、社会福祉士	相続手続きについて

回	開催日	相談者	対応職種	相談内容
5	6月3日	家族・障害相談支援事業所職員	弁護士、社会福祉士	成年後見制度に関すること
6	6月3日	事業所	社会保険労務士	事業所における労務管理について
7	6月17日	家族	弁護士、社会福祉士	相続手続きについて
8	6月17日	家族	弁護士、社会福祉士	親族間のトラブルについて
9	7月15日	家族	社会保険労務士	年金について
10	8月5日	家族	弁護士、社会福祉士	成年後見制度に関すること
11	8月19日	家族・障害相談支援事業所職員	弁護士、社会福祉士	成年後見制度に関すること
12	10月7日	家族	弁護士、社会福祉士	知人との金銭トラブルについて
13	11月4日	家族	弁護士、社会福祉士	成年後見制度に関すること
14	11月4日	家族	弁護士、社会福祉士	相続・遺言について
15	12月2日	家族	弁護士、社会福祉士	合理的配慮について
16	12月16日	家族	弁護士、社会福祉士	近隣住民とのトラブルについて
17	令和4年2月17日	家族	弁護士、社会福祉士	相続について
18	2月17日	家族・支援者	弁護士、社会福祉士	成年後見制度に関すること
19	3月3日	家族	弁護士、社会福祉士	相続・遺言について
20	3月17日	家族	弁護士、社会福祉士	金銭管理、成年後見制度に関すること

【専門職による地域担当制の実施及び周知】

弁護士・司法書士・社会福祉士を地域ごとに配置した。これにより、より身近な地域での相談や連携が促進した他、各市町における成年後見制度利用促進法への対応につながった。

回	圏域	年月日	相談者	職種	時間	方法	相談者	実施内容
1	中讃	令和3年4月5日	町社協	司法書士	60分	来所	1名	任意後見制度についての相談
2	中讃	4月12日	地域包括支援センター	弁護士	15分	電話	1名	市町申立中に被後見人が亡くなった方についての債務整理に関する助言

回	圏域	年月日	相談者	職種	時間	方法	相談者	実施内容
3	中讃	4月15日	町社協	司法書士	100分	来所	2名	利用者の相続手続きについての法的助言
4	中讃	4月19日	地域包括支援センター	弁護士	115分	来所	3名	相談ケースについて、相続について親族への説明、手続きについての助言
5	中讃	4月23日	地域包括支援センター	司法書士	90分	来所	6名	成年後見制度の親族申し立てに関わる相談・助言
6	中讃	5月19日	地域包括支援センター	弁護士	135分	来所	12名	ケース会議にて今後の支援方法についての法的助言
7	大川	5月20日	町社協	弁護士	120分	来所	2名	裁判所から届いた通知書の内容についての助言
8	三観	5月21日	地域包括支援センター	弁護士	105分	訪問	3名	債務への対応方法と貯金の使途についての法的助言
9	大川	5月21日	市社協	司法書士	60分	訪問	1名	今後の対応方法についての助言
10	大川	5月28日	市社協	司法書士	120分	訪問	3名	今後の対応方法についての助言
11	三観	6月9日	市行政	弁護士	150分	来所	9名	受任調整会議
12	大川	6月11日	市社協	司法書士	60分	訪問	2名	任意後見制度についての助言
13	中讃	7月8日	地域包括支援センター	弁護士	105分	来所	20名	認知機能低下がある高齢者の今後の金銭管理、債務整理についてケース会議への参加
14	大川	7月12日	市社協	弁護士	20分	来所	1名	金銭管理、債務整理
15	高松	7月13日	市行政	弁護士、社会福祉士	60分	来所	13名	虐待対応について
16	大川	7月16日	市行政	弁護士	100分	訪問	2名	親族間の金銭トラブルについての法的、福祉的助言
17	中讃	8月6日	地域包括支援センター	社会福祉士	115分	来所	9名	今後の方向性について福祉的助言
18	中讃	8月16日	町社協	弁護士	60分	来所	2名	債務整理についての法的助言

回	圏域	年月日	相談者	職種	時間	方法	相談者	実施内容
19	三観	8月30日	市行政	弁護士	90分	来所	7名	受任調整会議への参加
20	中讃	8月31日	町社協	弁護士	60分	訪問	1名	不動産について売買契約書に関する内容の法的助言
21	中讃	9月2日	市行政	司法書士	20分	電話	1名	財産管理、葬儀についての助言
22	中讃	9月7日	市社協	弁護士	60分	訪問	2名	親族からの手紙（質問・資料開示）に対しての返答の助言
23	三観	9月21日	市社協	弁護士	10分	電話	1名	交通事故の対応についての法的助言
24	三観	9月21日	市社協	弁護士	60分	訪問	1名	債務整理についての助言
25	三観	9月24日	町社協	弁護士	35分	来所	2名	法テラスを利用した債務整理のための必要書類等の確認、助言
26	大川	9月29日	市社協	弁護士	90分	来所	9名	申立の候補者、支援者検討会での助言
27	大川	9月29日	市社協	司法書士	90分	来所	9名	申立の候補者、支援者検討会での助言
28	大川	10月11日	市行政	弁護士	30分	電話	1名	損害賠償の保険金受取についての助言
29	中讃	10月13日	地域包括支援センター	弁護士	100分	来所	13名	金銭問題等に関する法的助言
30	中讃	11月30日	地域包括支援センター	司法書士	130分	訪問	5名	親族申立を行うにあたり、ケース会の参加、書類作成業務を依頼
31	高松	令和4年2月22日	市社協	弁護士	50分	訪問	2名	被補助人に関わる相続問題についての助言
32	三観	2月25日	市社協	弁護士	20分	電話	1名	債務整理についての助言
33	三観	3月8日	市社協	司法書士	30分	電話	1名	被後見人の土地建物の売却について
34	三観	3月11日	市社協	司法書士	90分	訪問	1名	被後見人の土地建物の売却について
35	高松	3月15日	市行政	弁護士	60分	書面	1名	虐待対応について
36	中讃	3月25日	町社協	弁護士	60分	訪問	2名	2件の法的助言（田の売買契約について、携帯契約について）
37	高松	3月28日	市社協	弁護士	10分	電話	3名	後見申立についての助言

回	圏域	年月日	相談者	職種	時間	方法	相談者	実施内容
38	大川	3月30日	町社協	弁護士	30分	訪問	1名	被後見人の亡くなった両親の相続に関する法的助言

【専門職の講師派遣の実施】

回	開催日	申込者	職種	内容		対象者	参加者
1	令和3年6月9日	地域包括支援センター	司法書士	エンディングノートについて		認知症の方、家族	10名
2	7月15日	地域活動支援センター	司法書士	成年後見制度の概要 相続・遺言について		障害者の家族	10名
3	8月25日	介護保険事業所	施設職員	成年後見制度・日常生活自立支援事業について		介護従事者	25名
4	11月7日	地域包括支援センター	社会福祉士	成年後見制度の概要		市民	30名
5	11月17日	養護学校家族会	社会福祉士	成年後見制度の概要		保護者	40名
6	11月18日	障害者支援施設	社会福祉士	成年後見制度の概要		施設職員	20名
7	11月22日	障害者就業・生活支援センター	弁護士	障害者の消費者被害について		センター職員	7名
8	12月3日	町行政	弁護士	成年後見制度の概要		民生委員・児童委員、居宅、包括職員	90名
9	12月8日	地域包括支援センター	弁護士	消費者被害について		認知症の方、家族	10名
10	12月9日	相談支援センター	社会福祉士	障害児・者の意思決定支援について		福祉サービス事業所職員 相談支援事業所職員	15名
11	12月17日	コミュニティセンター	社会福祉士	高齢者の権利擁護について		60歳から80歳の市民	30名
12	令和4年2月8日	市行政	弁護士	民法の基礎(家族法・財産法)		市民後見人養成講座受講者	10名
13	2月9日	市社協	司法書士	成年後見制度と遺言について		65歳以上の方及び介護予防に興味のある方	50名

なお、行政による成年後見制度利用支援事業実施状況の調査は、香川県長寿社会対策課が実施したため、当協議会としては実施していない。

3 成年後見制度利用促進法への対応等市町における権利擁護支援体制の構築支援

(1) 中核機関、地域における権利擁護支援体制の構築に向けた協議の実施及び市町で実施される協議等への参加

① 中核機関等連絡会議の開催

中核機関及び地域連携ネットワークが担う役割についての取組状況を確認し、課題整理を行うとともに、第二期成年後見制度基本計画の内容についても共有した。

【第1回】

- ・ 開催日 令和3年5月24日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 令和元年度、2年度に中核機関を設置した市町の行政職員、社協職員、弁護士、司法書士、社会福祉士、県、県社協職員
28名

・ 報告

香川県内の成年後見制度利用促進法への対応等権利擁護の取組状況

・ 協議事項

○中核機関における取組と課題についての情報共有

各市町での取組で課題となっていること

中核機関の取組（申立支援や受任調整についての事例発表）

○令和3年度の意見交換会や研修の実施について

中核機関連絡会議の開催について

実施する研修の内容について

○その他

【第2回】

- ・ 開催日 令和4年3月2日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 市町行政職員、社協職員、県、県社協職員 56名
- ・ 協議事項
 - 第二期基本計画について
 - 権利擁護の推進、中核機関における取組と課題についての情報交換
 - 令和4年度のかがわ後見ネットワークの取組について
 - その他

② 次期成年後見制度利用促進基本計画中間とりまとめ、令和4年度厚生労働省予算概算要求に関する説明会の実施

- ・ 開催日 令和3年9月15日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 市町行政職員、社協職員、県、県社協職員
- ・ 内容 中間とりまとめ、令和4年度予算に関する説明及び質疑応答

- ③ 各市町や圏域で実施される連絡会、意見交換会等への参加

【高松市】

高松市成年後見制度利用促進協議会への参加（8/25、2/16）

【丸亀市】

後見センターまるがめ中核機関打合せ会議への参加（3/23）

【善通寺市、琴平町、多度津町、まんのう町における広域での協議の実施】

- ・ 開催日 令和3年4月20日、6月29日、8月11日、11月25日、
令和4年1月9日
- ・ 場 所 善通寺市総合会館
- ・ 参加者 善通寺市職員、善通寺市社協職員、琴平町職員、琴平町社協職員
多度津町社協職員、まんのう町職員、まんのう町社協職員、
県社協職員 10名 ※専門職の参加なし
- ・ 協議事項
 - 広域での取組について
 - 令和3年度の研修について
 - 今後の市民後見人養成研修の実施について

【善通寺市】

善通寺市成年後見地域連携推進協議会への参加（書面での実施）

【観音寺市】

成年後見制度利用促進への対応に関する打合せへの参加

- ・ 開催日 令和3年4月15日
- ・ 場 所 観音寺市社会福祉総合センター
- ・ 参加者 観音寺市職員、観音寺市社協職員、弁護士、県社協職員 15名

【さぬき市・東かがわ市】

大川圏域権利擁護意見交換会の開催

- ・ 開催日 令和3年7月30日
- ・ 場 所 さぬき市寒川庁舎
- ・ 参加者 さぬき市職員、さぬき市社協職員、東かがわ市職員、
東かがわ市社協職員、県社協職員
弁護士、司法書士、社会福祉士 40名

・ 協議事項

- 各市町の取組状況について
- 今後の広域での取組について

【三豊市】

三豊市成年後見制度利用促進審議会への参加（書面での実施）

受任調整会議への参加（県社協職員）（6/9、8/30）

【三木町】

研修会の実施

- ・ 開催日 令和3年9月7日
- ・ 場 所 三木町役場

- ・ 参加者 三木町職員、三木町社協職員、三木町内の介護支援専門員、相談支援事業所職員 20名
- ・ 講 師 弁護士 松本 タミ 氏
県社協職員

【宇多津町】

受任調整会議への参加（県社協職員 11/25、1/12）

【琴平町】

琴平町成年後見利用促進協議会への参加

（県社協職員 4/8、6/10、7/8、10/14、11/12、12/9）

【多度津町】

実務者会議

- ・ 開催日 令和3年4月28日、5月26日、7月28日、8月25日、12月22日、令和4年3月23日
- ・ 場 所 多度津町総合福祉センター
- ・ 専門職の参加 弁護士、司法書士、社会福祉士の参加延べ 18名

【まんのう町】

ア まんのう町成年後見制度利用促進協議会への参加（県社協職員）

- ・ 開催日 令和3年4月22日
- ・ 場 所 まんのう町役場

イ まんのう町成年後見制度利用促進協議会実務者会への参加（県社協職員）

- ・ 開催日 令和3年9月15日、12月15日、令和4年3月8日
- ・ 場 所 まんのう町役場

(2) 県、市町行政、社協、専門職団体、家庭裁判所との連携強化と県全体の権利擁護支援ネットワーク構築に向けた検討

① 各市町の中核機関設置に向けた支援や支える中核の役割、中核機関を担う職員の育成に向けた研修の実施等について、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会と行政、社協とで重点的に協議を行った。

回	開催日	場所	協議事項
第1回	令和3年 4月19日	香川県社会福祉総合センターまたはオンラインで実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町の取組と支える中核の役割、機能について（現状と課題） ・令和3年度の研修及び意見交換（中核機関連絡会議等）の実施について ・その他
第2回	6月28日		<ul style="list-style-type: none"> ・中核機関における受任調整機能のあり方について ・市民後見人の養成と活動支援について ・今年度実施する研修について ・その他

回	開催日	場所	協議事項
第3回	9月27日		<ul style="list-style-type: none"> ・次期計画中間とりまとめとそれを踏まえた課題整理 ・今年度実施する研修について ・その他
第4回	令和4年 3月23日	香川県社会福祉総合センターまたはオンラインで実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町の取組状況と課題について ・次年度実施する研修について（内容の検討） 　市町長申立ての実務に関する研修 　意思決定支援に関する研修 ・その他

② 社協の権利擁護の取組に関する意見交換会を実施した。

- ・ 開催日 第1回目 令和3年 9月10日
 第2回目 10月 4日
 第3回目 11月 8日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 出席者 丸亀市社協職員、坂出市社協職員、観音寺市社協職員、さぬき市社協職員、三豊市社協職員、綾川町社協職員、県社協職員 9名
- ・ 協議事項
 - 日常生活自立支援事業
 - 法人後見の実施及び成年後見制度利用促進への対応について
 - 日常生活自立支援事業における預かり物の返還の対応
 - 行政の役割について
 - 成年後見制度利用促進等地域の権利擁護支援のあり方について
 - 社協としての体制整備
 - 日常生活自立支援事業の市町村実施に向けた検討に関するこ
 - 子どもの権利に関するこ

(3) 権利擁護に関する人材の確保・養成と普及啓発

【研修会、講演会、人材育成研修の実施】

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、集合の研修は実施せず、講義内容を撮影したものを（DVD、YouTube）希望する市町（高松市、坂出市、さぬき市・東かがわ市）に提供した。また、YouTubeのURLを各市町社会福祉協議会へも周知し、各市町で実施される研修等で活用していただくことで、今後の市民後見人等人材養成につながるよう工夫した。

① 市民後見人材育成研修

	科 目	内 容	講 師
1	「成年後見制度の基本理念と概要」	成年後見制度の基本理念を理解し、申立てから報告までの流れや概要を学ぶ。	社会福祉士
2	「後見人の業務について①」～身上監護～	身上監護の具体的な実務を理解する。	社会福祉士
3	「後見人の業務について②」～財産管理～	財産管理の具体的な実務を理解する。	司法書士
4	「対象者と社会資源の理解①」～認知症高齢者～	成年後見制度の対象者について、その障害の特性や支援に必要な社会資源について事例を交えて学ぶ。	社会福祉士
5	「対象者と社会資源の理解②」～知的障害者～	成年後見制度の対象者について、その障害の特性や支援に必要な社会資源について事例を交えて学ぶ。	社会福祉士
6	「対象者と社会資源の理解③」～精神障害者～	成年後見制度の対象者について、その障害の特性や支援に必要な社会資源について事例を交えて学ぶ。	精神保健福祉士
7	実際の活動報告 (市民後見人)	市民後見人の活動報告や社会福祉協議会のサポート体制を聞き、具体的な実務のイメージをもつ。	坂出市市民後見人 丸亀市市民後見人
8	「後見業務の法律基礎知識」～家族法、財産法～	後見業務で必要となる法律の基礎知識を学ぶ。	弁護士
9	「成年後見を取り巻く諸制度の基礎」	成年後見制度を取り巻く各種保険制度について学ぶ。	社会保険労務士
10	成年後見の実務 ①申立て手続き書類の作成 ②財産目録の作成・収支予定の作成 ③年次報告書/報酬付与申立ての実務 ④後見事務終了の手続き/死後事務	申立て書類のそろえ方や作成方法などについて演習を通して学ぶ。 ※④は令和2年度撮影分を使用。	司法書士

② 成年後見制度に関する県全体での意見交換会（先進地事例に関する研修、職員等研修会を兼ねる。）

- ・ 開催日 令和3年11月18日
- ・ 場 所 高松商工会議所会館
- ・ 参加者 市町行政、地域包括支援センター、市町社協、弁護士、司法書士、社会福祉士 52名

・ 内 容

【講義】※オンライン

次期成年後見制度利用促進基本計画に係る中間とりまとめの内容を踏まえ、地域の権利擁護支援体制の構築に向けたそれぞれの役割について

厚生労働省 社会・援護局地域福祉課成年後見制度利用促進室

自治体支援係長 安藤 亨氏

【報告】

成年後見制度利用促進における香川県内の取組について（県社協）

【グループワーク・意見交換】

事例をもとに中核機関の機能や役割についての意見交換

- ③ 将来的に市民後見人として活動いただく方の養成に向けて、法人後見支援等地域の人材育成と活動支援に広域で取組むことを目的に実施した。

圏域	開催日	場所	参加者	内容
善通寺市・琴平町・多度津町・まんのう町	令和3年 8月18日、 25日	各市町及び善通寺市役所	16名	①権利擁護について・成年後見制度について（弁護士） ②市民後見人としての具体的な活動について（DVD視聴） ③対象者の理解と支援の際に心がけることについて～認知症・障害について～（社会福祉士） ④なりきり寸劇団「ほのぼの座」による講座 ⑤市民後見人としての日ごろの活動について 坂出市市民後見人 坂出市社会福祉協議会職員
大川	令和3年 5月18日、 25日	東かがわ市交流プラザ、さぬき市役所寒川庁舎	11名	①人権について・成年後見制度について（弁護士） ②日常生活自立支援事業について（香川県社会福祉協議会） ③対象者の理解と支援の際に心がけることについて～認知症・障害について～（社会福祉士） ④支援員・市民後見人としての具体的な活動について（活動報告）

(4) 子どもの権利に関する協議については、かがわ後見ネットワーク運営協議会において実施した。

(5) あんしんネットの開催への協力

- (6) 特定非営利活動法人後見ネットかがわの事務局として、その運営や活動に協力した。
- (7) 権利擁護・成年後見支援センターの実施事業と組織体制の見直しについては、次年度以降も継続して検討することとなった。

1－3 多機関協働・地域づくり・参加支援のための取組の推進

1 重層的支援体制構築に向けた県後方支援事業の推進

社会福祉法の改正により、重層的支援体制整備事業が法定化され、複雑・多様化している地域生活課題に対応するため、地域における包括的な支援体制の構築に取組むこととされている。今年度は、香川県において、包括的な支援体制構築に取組もうとする市町を支援するため、市町行政職員や社会福祉協議会職員等を対象とした研修の実施や地域の相談支援体制等の現状を把握し、今後の取組みについて検討することを目的に実態調査を実施した。

(1) 包括的な支援体制の構築に向けた研修の実施

1	目的	行政職員と社会福祉協議会職員が共に地域共生社会の実現に向けた施策の動向とソーシャルワークの機能を学び、地域福祉の理念の理解と共通認識を持ち、今後の取組みを進めていくことを目的に開催した。
	開催日	令和3年5月12日
	開催方法	オンライン
	参加者	県市町行政職員 62名、県市町社協職員 46名 計108名
	内容	○行政説明「地域共生社会の実現に向けた施策と事業・活動について」 (説明) 厚生労働省 社会・援護局 地域共生社会推進室 支援調整係長 田代 善行 氏 ○講義「地域共生社会の実現とソーシャルワーカーへの期待」 (講師) 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田 正樹 氏
2	目的	先進市町の事例報告を通じて、重層的視点体制整備事業の取組みを学び、各市町や分野で必要なしくみや資源を考えることを目的に開催した。
	開催日	令和3年10月20日
	開催方法	オンライン
	参加者	県市町行政職員 46名、県市町社会福祉協議会職員 49名 計95名
	内容	○シンポジウム 「地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業の取組み ~行政・社協の立場から~」 (シンポジスト) ・福井県坂井市 福祉総務課 社会福祉士 斎藤 正晃 氏 ・富山県氷見市 氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏 (コーディネーター) 琴平町社会福祉協議会 会長 越智 和子 氏

(2) 包括的な支援体制の構築に向けた調査研究の実施

① 勉強会の開催

県関係課職員（長寿社会対策課、障害福祉課、子ども政策課、子ども家庭課、健康福祉総務課）で当事業に係る各分野の既存事業の取組み状況の情報共有や意見交換を行った。

回	開催日	場所	内容	参加者
1	令和3年 6月18日	県庁北館	・当事業に係る情報交換等 ・事前アンケートの共有	15名
2	7月26日	県庁北館	・市町における重層的支援体制整備のイメージ図について ・既存事業の連携について	16名
3	8月30日	香川県社会 福祉総合セ ンター	・全国研修実践報告視聴 (松戸市、鳥羽市、氷見市) ・意見交換	16名

② 市町行政及び市町社協への実態調査の実施

- ・ 目的 包括的支援体制づくりを進めるため、市町における現状や課題等を把握し、今後の支援策を検討することを目的に実施した。
- ・ 調査内容 重層的支援体制整備事業の取組みに関する市町の現状や課題について
- ・ 調査方法 メールによる調査票送付
- ・ 調査期間 令和4年1月12日～令和4年1月31日
- ・ 回収結果 15／17市町行政、16／17市町社協

③ 検討会の開催

上記アンケート結果をもとに、県後方支援検討会を開催し、今後の取組みについて検討を行い、報告書にまとめた。

- ・ 開催日 令和4年3月8日
- ・ 開催方法 ハイブリッド方式（オンライン及び会場）
- ・ 参加メンバー 県健康福祉総務課、県社協
- ・ アドバイザー 文京学院大学 人間福祉学科 教授 中島 修 氏
厚生労働省 社会・援護局
地域共生社会推進室 支援調整係長 田代 善行 氏

(3) 市町における支え合いの地域づくりの取組み推進（福祉教育・共助の基盤づくり）

① 地域生活課題解決プログラムの企画・実施に向けた勉強会の開催

地域生活課題解決勉強会（次世代育成研修）

【1回目】

開催日 令和3年12月14日～15日

会 場 香川県社会福祉総合センター

内 容 ○講義「地域共生社会政策時代における社協の位置・役割と組織のあり方」

講師 日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙策 氏

○講義「地方自治制度と組織・予算について」

講師 香川県社会福祉協議会 常務理事 高木 康博

○コンサルテーション

自分自身の実践と課題整理・解決方法レポート

○ワーク 問題解決プログラムの開発・企画

参加者 県内社協職員 14名

【2回目】

開催日 令和4年2月10日

会 場 香川県社会福祉総合センター／オンライン

内 容 問題解決プログラム開発・企画の発表・検討

講師 県内社協地域福祉推進委員会 委員長 越智 和子 氏

参加者 県内社協職員 10名

② 人材育成の取組み

ア コミュニティソーシャルワーク研修の開催

【前期】

目 的	地域の多職種・多機関協働による相談支援や参加支援、地域づくりなど各市町における支援体制構築に向けて、コミュニティソーシャルワークの視点を学び、事例を通じて多職種・多機関の相互理解を深め、連携・協働による地域福祉推進について考えることを目的に開催した。
開 催 日	令和3年11月5日～6日
開 催 場 所	サンメッセ香川
参 加 者	市町行政、社協、社会福祉施設職員 20名
内 容	<p>○基調講演 「地域共生社会政策時代における地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク」 講師 日本地域福祉研究所 理事 文京学院大学 人間福祉学科 教授 中島 修 氏</p> <p>○実践報告</p> <ul style="list-style-type: none">・権利擁護の現場から 香川県弁護士会 副会長 弁護士 秋月 智美 氏・在宅医療・介護連携の現場から 綾歌地区医師会 綾歌地区在宅医療連携支援センター 副センター長 社会福祉士 増田 玲子 氏・社協の現場から 高松市社会福祉協議会 地域共生社会推進室 まるごと福祉相談員 石尾 真一 氏

内 容	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本地域福祉研究所 理事 文京学院大学 人間福祉学科 教授 中島 修 氏 ・香川コミュニティソーシャルワーク実践研究会 代表 琴平町社会福祉協議会 会長 越智 和子 氏 <p>○講義・演習「コミュニティソーシャルワークの基礎」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別アセスメントと個別支援 ・地域アセスメントと地域支援 ・個別ニーズに対する社会資源開発 等
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【後期】

目 的	参加者自身等でこれまでに対応した事例を基に事前課題に取組み、また、参加者同士によるコンサルテーションを通して、コミュニティソーシャルワーク実践者としての望ましい相談支援のあり方や行動を体験的に学ぶことを目的に開催した。
開 催 日	令和 4 年 2 月 24 日
開 催 方法	オンライン
参 加 者	市町社協、社会福祉施設職員 14 名
内 容	<p>○講義</p> <p>「地域共生社会の実現にむけた これからの相談支援のあり方について ～コミュニティソーシャルワークの展開過程を踏まえて～」</p> <p>講師 日本地域福祉研究所 理事 文京学院大学 人間福祉学科 教授 中島 修 氏</p> <p>○グループコンサルテーション 3 グループに分かれて実施</p> <p>講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本地域福祉研究所 理事 文京学院大学 人間福祉学科 教授 中島 修 氏 ・香川コミュニティソーシャルワーク実践研究会 代表 琴平町社会福祉協議会 会長 越智 和子 氏 ・香川コミュニティソーシャルワーク実践研究会 理事 琴平町社会福祉協議会 事務局次長 新原 隆一 氏

イ ソーシャルワーク基礎研修の開催

開催日 令和 3 年 5 月 13 日

開催方法 オンライン

内 容 講義「地域共生社会の実現に向けて専門職に求められるソーシャルワークの視点」

講師 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田 正樹 氏

参加者 県市町行政・地域包括支援センター・市町社協・社会福祉施設職員40名
ウ アンガーマネジメント研修の開催
 開催日 令和4年1月26日
 開催方法 オンライン
 内容 講義「上手に怒る、我慢はしない
 　～アンガーマネジメントでよりよりコミュニケーションを～」
 講師 日本アンガーマネジメント協会
 　　高松太田社労士事務所 代表 谷川 由紀 氏
 参加者 県内社協職員 15名
エ メンタルヘルス研修の開催
 開催日 令和3年6月22日
 開催方法 オンライン
 内容 講義「相談支援担当者のためのメンタルヘルス
 　～自分と仲間を守る力をつける～」
 講師 香川カウンセリングセンター 臨床心理士 浅海 明子 氏
 参加者 県内社協職員 14名
オ 新型コロナウィルス感染対応研修の開催
 開催日 令和3年6月7日
 開催方法 オンライン
 内容 講義「職場内で新型コロナ感染症の患者が発生した場合の対応について」
 講師 看護師 安本 一実 氏
 参加者 県内社協職員 35名

2 香川おもいやりネットワーク事業の推進

平成27年度に事業を開始し、地域の福祉関係者や民生委員・児童委員等のネットワークづくりや人づくり、地域づくりに取組んできたが、地域における包括的支援体制整備に向けた取組みであるとの認識のもと、各市町（圏域）でのネットワーク会議や認定事業に取組んだ。

(1) 地域のネットワーク構築に向けた取組と地域におけるネットワーク構築に向けて、各市町においてネットワーク等会議を開催した。

① 市町地域ネットワーク等会議の開催

市町名	開催日	参加者	主な内容
高松市	-		
丸亀市	10月11日	19名	<ul style="list-style-type: none"> ・香川おもいやりネットワーク事業の現状と課題 ・社会資源マップについての説明と報告 ・地域の取組み状況報告
	3月14日	17名	・地域資源マップについて
坂出市	-		
善通寺市	1月18日		<ul style="list-style-type: none"> ・講演「命を守るネットワーク～地域で暮らす人たちが、つながるためにできること」 <p>講師 (福) 善通寺希望の家 元施設長 田中 慎治 氏</p>
観音寺市	-		

市町名	開催日	参加者	主な内容
さぬき市	毎月 1 回	11~16 名	個別ケース検討会 ・ケース検討及び報告 ・生活福祉資金特例貸付の貸付状況について ・地域課題の抽出・整理について 等
	6 月 15 日	34 名	代表者会・実務者会 ・委員長・副委員長の選出 ・令和 2 年度事業報告及び令和 3 年度事業計画について
	11 月 20 日	33 名	さぬき福祉避難所研修会 ・講義「災害福祉支援ネットワークについて」 講師 香川県社会福祉協議会 事務局長 日下 直和 ・避難所運営シミュレーション訓練
	11 月 26 日	23 名	南あわじ市民生委員連合会視察研修受入れ
東かがわ市	2 月 15 日	17 名	・市内実績報告 ・県内の取組みについて ・市内参画法人との取組みについて ・湊川河津桜まつりにおけるバザー出店について
三豊市	10 月 7 日	12 名	情報共有、事例共有、意見交換
	12 月 21 日	12 名	
	3 月 25 日	10 名	
土庄町 小豆島町	毎月 1 回	11~17 名	各社会福祉施設・団体の情報共有、意見交換等
三木町	3 月 23 日	8 名	・令和 3 年度の活動報告及び令和 4 年度の取組について
直島町	6 月 9 日	20 名	・社協の取組 ・熱中症予防について
	9 月 8 日	19 名	・社協の取組 ・認知症高齢者についての情報提供
宇多津町	11 月 1 日	11 名	・香川おもいやりネットワーク事業の現状と今後の活動について ・巡回訪問について
綾川町	-		
琴平町 まんのう町	7 月 2 日	11 名	・今年度の活動進捗状況と今後の予定 ・コロナ禍における生活福祉資金貸付等生活困窮者支援の状況について ・施設利用者の家族への支援について
	11 月 5 日	12 名	・香川おもいやりネットワーク事業の活動状況 ・各施設・社協の上半期活動状況について
	3 月 4 日	11 名	・コロナ禍における事業運営についての情報交換等 ・今年度の活動状況について ・今後の課題について ・次年度の活動、特に新規事業や連携して取り組む事業についての意見交換
多度津町	3 月 30 日	22 名	キーパーソンがいない人の課題について事前調査の結果内容をもとに、具体的な場面や施設、医療機関が求めることについてグループで意見交換を行った。

② 参画法人数 79 法人／194 法人（令和 4 年 3 月末日現在）

[内訳] 98 施設・18 県市町社協、計 116 か所

特別養護老人ホーム 40、介護老人保健施設 5、養護老人ホーム 3、

軽費老人ホーム・ケアハウス 8、障害者支援施設 12、

障害福祉サービス事業所 12、救護施設 1、保育所 11、

県市町社協 18、その他の施設 6

③ 協力会員 2団体

(2) 総合相談・支援事業の取組

① 本人の地域での自立生活に向けた相談・支援の実施

○相談・支援件数 (件)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	累計
相談支援 件数	195	91	215	189	213	232	222	1, 357
現物給付 件数	49	89	90	71	99	83	66	547

事業開始からの累計額 19, 374, 971 円

○現物給付実績 (円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
家賃・住宅 費用	913, 728	1, 352, 759	609, 910	895, 172	346, 442
電気料金	418, 403	458, 017	646, 845	627, 288	456, 832
携帯電話等 通信料	270, 848	660, 533	249, 980	435, 046	48, 834
ガス料金	141, 498	129, 729	103, 858	100, 439	35, 373
食材・食品 購入費	143, 834	118, 540	66, 189	116, 274	82, 692
税金滞納分 支払費	19, 300	0	260, 700	2, 400	12, 100
施設利用料	0	21, 140	68, 520	22, 385	28, 358
水道料金	72, 755	49, 028	29, 203	75, 316	78, 745
その他 (※)	1, 102, 704	587, 780	1, 310, 890	1, 214, 992	531, 141
計	3, 083, 070	3, 377, 526	3, 346, 095	3, 489, 312	1, 620, 517

※その他

住民票取得費、ごみ処理代、医療費、交通費、PCR 検査代、振込手数料、通帳再発行手数料、後見
申立費用、設備設置費、自転車購入費

○市町別（令和3年度）

市町名	件数	金額（円）	市町名	件数	金額（円）
高松市	24	579,294	土庄町	3	16,361
丸亀市	1	6,987	小豆島町	0	0
坂出市	0	0	三木町	4	20,119
善通寺市	0	0	直島町	0	0
観音寺市	0	0	宇多津町	4	14,237
さぬき市	10	438,601	綾川町	2	115,717
東かがわ市	1	1,100	琴平町	8	186,590
三豊市	0	0	多度津町	2	155,194
			まんのう町	7	86,317
					合計 66件 1,620,517円

（3）地域の社会資源や新しいサービス開発、地域の居場所づくり、権利擁護体制の推進

- ① 入居債務保証支援モデル事業の検証、居住支援の取組の推進（居住支援法人活動との一体的な取組）

ア 入居債務保証支援モデル事業利用状況（令和4年3月末日現在）

契約件数 65件（内、30件解約済）

イ 居住支援の取組推進

○ 住まいに関する情報交換会の開催

開催日 令和4年1月29日

場 所 香川県社会福祉総合センター

参加者 行政・社協職員 3名

内 容 生活支援における現状と課題の共有、今後に向けた意見交換

ウ 居住支援協議会への参加

居住支援協議会へ参加し、関係機関・団体との連携、情報共有を図った。

- ② 認定事業（居場所づくり等モデル事業）の拡充

これまでの総合相談支援の中から見えてきた課題に対応するため、社会福祉法人が取り組む地域の居場所づくり等を認定事業として1事業10万円までの助成を行った。

	施設・社協名	種別	事業名	内容	助成額（円）
1	ヌーベルさん がわ	高齢	フリースペース 事業（わんぱく 教室、児童預かり 支援）	子どもから高齢者まで包括的に支える 地域の拠点として、子どもの居場所づくりや児童クラブ終了後の児童の預かり 支援に取組んでいるが、今年度は、新型コロナの影響により中止した。	-
2	ヌーベル木太	高齢	地域交流活動事 業（2事業）	地域住民の交流の機会が減少する中、 育成会や子ども会と連携し、施設を拠 点として、地域交流事業を開催するこ とで、地域・世代間交流に取組んだ。	113,220

	施設・社協名	種別	事業名	内容	助成額(円)
3	香東園	高齢	てんごの会でないまぜ交流	核家族や単身高齢者の増加により、世代間交流の機会が減少しており、高齢者や社会的弱者への接し方が分からぬ人が増えている。誰もが集える場として施設を活用する予定であるが、今年度は新型コロナの影響で施設内での活動の展開となった。	77,975
4	大寿苑	高齢	ボランティアフォローアップ講座	新型コロナの影響でボランティア活動が制限される中、フォローアップ研修会や交流会は喜ばれた。また、オンラインを取り入れることもでき、今後の活動に活かせる機会となった。	6,600
5	大寿苑	高齢	ぬくもりサロン事業	新型コロナの影響もあり2回のみの開催となったが、参加者の気分転換やストレス軽減の機会となった。また、鬼無ならではの盆栽講座を開催し、地元の良さを確認した。	10,697
6	マリアの園	高齢	買い物支援	施設の車輌を利用し、高齢者の移動や買い物時の支援を行うことで、コロナ禍における外出や交流の機会を提供した。	11,517
7	絹島荘	高齢	認知症カフェ『結の会』	心配ごとを丸ごと受け止められる介護支援専門員等が常駐する体制を整備し、誰もが認知症になっても地域で安心して暮らせる知恵や介護方法を学ぶ場づくりに取組んだ。	70,000
8	絹島荘	高齢	買い物支援 GOGO	公共交通機関の整備されていない山間部の高齢者等を対象に買い物バスを運行することで、住民の閉じこもりを防ぎ、移動支援・自立支援・外出支援に取組んだ。	100,000
9	絹島荘	高齢	スマイル食堂	利用者等へ計447食分のお弁当を届けることで、単身高齢者等の豊かな食事を支援するとともに、食を通じた交流に取組んだ。	100,000
10	絹島荘	高齢	地域ぐるみ防災訓練	自治会や行政、社協と協力し開催した。住民同士や住民と施設と顔の見える関係づくりや災害時にも支え合う地域づくりとして継続して取り組んでいく。	40,000
11	絹島荘	高齢	スマイル&スマイル講座	継続して実施することで、参加者やボランティアの介護予防や生きがいの場、地域の居場所となっている。	100,000
12	高松市社会福祉協議会	社協	見守りあんしんサポート事業	頼れる親族がないため、自身の将来や死後の不安のある方の相談対応等に取組んだ。広報啓発のためのパンフレットを作成した。	100,000

	施設・社協名	種別	事業名	内容	助成額(円)
13	高松市社会福祉協議会	社協	フードバンク・ものバンク事業	市場と連携し、新型コロナの影響で生活が厳しくなっている学生に、定期的に青果を提供することを通じて、孤立し見えにくい学生や留学生を支援につなげた。また、フードパントリーを開催し、子育て世帯を支援した。	100,000
14	高松市社会福祉協議会	社協	心配ごと相談事業	一般相談と弁護士等による専門相談、福祉以外の専門職も参加する総合相談を実施。総合相談時には社会福祉法人と連携して集めた学校用品等のバザーも開催し、身近な相談窓口として社協を知ってもらうきっかけになった。	100,000
15	丸亀市社会福祉協議会	社協	資源マップを作つて、おもいやり事業を知ってもらおう	社会資源マップ作成を通じて、地域の資源を確認した。今後はさらに参画法人施設とともに、地域住民に情報発信していく。	99,000
16	善通寺市社会福祉協議会	社協	ここめし、ここめし女子会、ここ寄席、ひきこもりミニ勉強会	地域支え合いセンター「ここ家」を拠点に住民の居場所や活躍できる場づくりに取り組んだ。※他事業で経費負担。	-
17	みとよ荘	障害	おとな・こどもの居場所づくり	施設を拠点に、子ども食堂や障害生活支援センターと連携し、地域の居場所づくりを予定していたが、新型コロナの影響で実施できなかった。	-
18	くれよん保育園	保育	地域多世代交流「ひととき」	多世代交流の場、文化伝承の場づくりを予定していたが、新型コロナの影響で実施できなかった。	-

③ 地域における権利擁護体制の構築準備

かがわ後見ネットワークとの連携を強化、地域に必要な仕組みや組織づくり、ネットワーク体制の構築等について検討した。

(4) 人材育成等の取組

① 総合相談・支援担当者養成研修

重層的支援体制構築に向けた県後方支援事業 コミュニティソーシャルワーク研修として開催

② 総合相談・支援担当者連絡会

香川おもいやりネットワーク事業・地域福祉合同担当者会として開催

- ・ 開催日 令和3年7月1日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 27名
- ・ 内 容 ○基調講義「地域共生社会の実現に向けたこれからの社協の役割」

説明 全社協 地域福祉推進委員会 委員長

香川おもいやりネットワーク事業運営委員会 副委員長

琴平町社会福祉協議会 会長 越智 和子 氏

○情報共有・意見交換

③ 香川おもいやりネット事業実践総括セミナー

新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した。

(5) 関係機関・団体、専門多職種等との連携

行政・教育・医療機関や各相談機関等へ事業周知と連携強化に取り組んだ。

(6) 事業全体の運営

① 香川おもいやりネットワーク事業運営委員会の開催

回	開催日	場所	内容
1	令和3年 6月3日	香川県社 会福祉総 合センター、わ ーク	○報告事項 令和2年度の事業実施報告について ○協議事項 ・事業運営委員会委員長について ・コロナ禍における今年度の取組みについて
2	令和4年 1月18日		○協議事項 ・今年度の事業実施状況及び次年度に向けて

② 香川おもいやりネットワーク事業運営委員会正副委員長会の開催

回	開催日	場所	内容
1	令和3年 5月20日	ヌーベル かんざき	○報告事項 令和2年度の事業実施報告について ○協議事項 今年度の取組みについて

3 「高齢者いきいき案内所」の運営

(1) 生きがい活動ガイド（コーディネーター）の配置

コーディネーターを1名配置し、企画・運営及び連絡調整等を実施した。

(2) 「高齢者いきいき案内所」相談等業務

① 相談及びマッチング

活動の場を求める高齢者、活動者を求める施設等からの相談に対応するとともに、高齢者と活動の場とのマッチングを行った。

また、各市町及び各市町社協職員の相談への対応及び助言を行った。

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年度 累計	累計
相 談 件 数	高齢者本人	26	15	13	17	16	9	31	13	13	20	28	27	228	2,003
	団体等	0	2	0	4	1	2	1	3	3	2	1	0	19	408
	その他 ※1	29	38	44	37	39	22	15	30	30	22	19	39	364	2,296
	計	55	55	57	58	56	33	47	46	46	44	48	66	611	4,707

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	累計
紹介件数	ボランティア	9	16	10	13	14	9	17	16	16	8	9	20	157	1,533
	地域交流	2	17	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4	27	167
	趣味	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	19
	健康づくり	12	7	11	8	7	1	1	3	3	6	5	9	73	369
	その他 ※2	2	1	3	3	3	9	4	7	7	1	12	14	66	835
	計	25	42	24	24	24	20	23	27	27	15	26	47	324	2,923

※1 県、市町、親族、ケアマネ、60才未満 ※2 住民参加型、シルバー人材、NPO

② 高齢者人材バンクの設置、登録・管理

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	開設後累計
登録件数	個人	2	18	2	11	2	1	9	1	0	0	1	3	50	497
	団体	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	91
	計	2	18	2	11	3	1	10	1	0	0	1	3	52	588
紹介件数	個人	1	0	0	2	0	0	2	3	1	0	2	0	11	221
	団体	2	2	1	0	2	0	2	0	1	1	0	1	12	272
	計	3	2	1	2	2	0	4	3	2	1	2	1	23	493

③ 高齢者の活動の場の調査

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	開設後累計
登録件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	697

(3) 「高齢者いきいき案内所」の周知

- ① 高齢者の活躍の場のサイト（生きがい情報ひろば）や公式LINEを通じて情報発信し、講座の案内や活動の場や人材バンクについての周知を行った。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
HP アクセス件数	21,084	21,042	17,501	22,072	15,905	16,151	16,943
月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	開設後累計
HP アクセス件数	10,694	16,577	16,931	29,447	18,752	223,099	1,734,560

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	累計
LINE メッセージ 送信件数	5	2	0	5	2	1	1	0	1	0	2	3	22
受信件数	542	216	0	577	232	121	120	0	126	0	266	413	2,613

② 関係機関・団体、企業等への周知

かがわ長寿大学等、関係機関団体等の研修会・講演会等でパンフレット等を配付し、「高齢者いきいき案内所」の説明・周知を行った。また、高齢者いきいき案内所季刊誌「生き活き」を4回発行し、市町社会福祉協議会、社会福祉法人、地元商業施設等へ配付し、活動内容の周知や利用促進に務めた。

(4) 養成講座及び交流会等の実施

人材バンク登録者や各種講座の受講者へ呼びかけ、活動状況の報告や学習の場を提供した。また、市町及び市町社会福祉協議会の職員が、地域活動などへの参加を希望する高齢者の相談を受け、「生きがい情報ひろば」に登録する新たな地域資源の情報収集や活用したり、活動の場を実際に見学することにより、「高齢者いきいき案内所」の役割を理解し、周知やマッチングに活かすことができるよう、交流会や各種研修会を企画、実施した。

① 交流会の実施

「高齢者いきいき案内所」人材バンク登録者交流会「きらりんぐ」や大人のための読み聞かせ会を開催し、情報交換等を行った。また、交流会の一部は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

ア 「きらりんぐ」

回	開催日	場 所	内 容
第1回	令和3年4月15日	高松市	ボッチャを楽しもう
第2回	5月19日	さぬき市	ボッチャを楽しもう
第3回	6月15日	高松市	南海トラフ地震がきたらどうする? 災害シミュレーションゲームを体験してみよう
第4回	7月15日	高松市	エンディングノート+お試し遺影撮影会
第5回	10月26日	高松市	スマホカメラ講座
第6回	11月15日	丸亀市	ボッチャを楽しもう
第7回	12月8日	丸亀市	しめかざりづくり
第8回	12月15日	高松市	しめかざりづくり
第9回	令和4年2月15日	高松市	みんなで楽しく身体を動かしましょう!

※9月、1月、3月の交流会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止した。

イ 大人のための読み聞かせ会

回	開催日	場 所	読み手
第1回	令和3年5月31日	高松市	SUN ばばちゃん
第2回	9月30日	高松市	絵本読みグループよもよも会
第3回	11月30日	高松市	SUN ばばちゃん
第4回	令和4年2月24日	高松市	絵本読みグループよもよも会

② 講座等の開催

ア 傾聴ボランティア養成講座

講師 グリーフワークかがわ 青井 恵子 氏

アシスタント ローマ 真由子 氏

さぬき傾聴ボランティアグループ「陽」

代表 山本 隆夫 氏

開催日及び会場	
高松会場 (前期)	会 場：香川県社会福祉総合センター 開催日：令和3年7月2日
善通寺会場	会 場：善通寺市総合会館 開催日：令和3年7月21日
高松会場 (後期)	会 場：香川県社会福祉総合センター 開催日：令和3年9月24日
宇多津会場	会 場：あみのうら交流センター 開催日：令和3年10月22日

※新型コロナウイルス感染症拡大のため、高松会場（後期）は動画視聴及び課題提出で養成講座修了とした。

イ 読み聞かせボランティア養成講座

講師 香川短期大学附属図書館司書 藤原 まゆみ 氏

朗読グループどんぐり代表 池田 陽子 氏

開催日及び会場	
高松会場 (前期)	会 場：香川県社会福祉総合センター 開催日：令和3年7月1日
善通寺会場	会 場：善通寺市総合会館 開催日：令和3年7月28日
高松会場 (後期)	会 場：香川県社会福祉総合センター 開催日：令和3年9月14日
三豊会場	会 場：マリンウェーブ 開催日：令和3年9月22日

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高松会場（後期）及び三豊会場は動画視聴及び課題提出で養成講座修了とした。

ウ 読み聞かせボランティア養成講座修了者発表会

開催日及び会場	
高松会場	会 場：本屋ルヌガンガ 開催日：令和 3 年 8 月 2 日 8 月 4 日
丸亀会場	会 場：おもちゃと絵本の店ウーフ 開催日：令和 3 年 10 月 13 日 10 月 20 日 10 月 27 日

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、読み聞かせボランティア施設実習を中止し、修了者の発表会をもって実習とした。

エ 絵本講座「子どもと楽しむ郷里の絵本」

講師 朗読グループどんぐり代表 池田 陽子 氏

【高松会場】

- ・ 開催日 令和 3 年 10 月 19 日
- ・ 会 場 香川県社会福祉総合センター

【丸亀会場】

- ・ 開催日 令和 4 年 1 月 19 日
- ・ 会 場 丸亀市市民活動センターマルタス

オ 読み聞かせボランティアフォローアップ講座

- ・ 講 師 香川短期大学附属図書館司書 藤原 まゆみ 氏
- ・ 開催日 令和 4 年 2 月 14 日、21 日
- ・ 会 場 香川県社会福祉総合センター

カ 子どもに関わるボランティア活動へのきっかけづくり講座

- ・ 講 師 さぬき傾聴ボランティアグループ「陽」 代表 山本 隆夫 氏
朗読グループどんぐり 代表 池田 洋子 氏

開催日及び会場	
西讃会場	会 場：マリンウェーブ 開催日：令和 3 年 10 月 25 日

※新型コロナウイルス感染症拡大のため、高松会場及び中讃会場は中止とした。

キ 読み聞かせボランティア養成講座受講者のための絵本勉強会「絵本の扉」

- ・ 講 師 本屋ルヌガンガ 書店員
おもちゃと絵本の店ウーフ 書店員

開催日及び会場	
本屋ルヌガンガ	開催日：令和 3 年 4 月 19 日 6 月 30 日 10 月 8 日

開催日及び会場	
おもちゃと絵本の 店ウーフ	開催日：令和3年 5月 12日
	7月 8日
	9月 29日
	令和4年 2月 2日

ク 美味しいコーヒーの淹れ方講習会

- ・ 講 師 コルシカ珈琲 代表 吉村 誠 氏
- ・ 開催日 令和3年 6月 24日
- ・ 会 場 香川県社会福祉総合センター

(5) 読み聞かせボランティア出張活動

読み聞かせボランティア養成講座修了者の新たな活動の場として、児童のいる家庭や子育て支援の居場所に訪問し、読み聞かせボランティア活動をする出張活動を新たにコーディネートした。

- ・登録ボランティア：21名
- ・活動先：3カ所

4 子どもの未来応援ネットワーク事業の実施

(1) 子どもの未来を応援するサポーターと「支援の場」とのマッチング、相談への対応及び連携体制の確立

「支援の場」と「サポーター」のマッチングを行うとともに、「支援の場」づくりに関する相談への助言を行う等の立ち上げ支援を行った。

また、各地域や関係機関の連絡会等に参加し、市町行政、市町社協、民生委員・児童委員等の地域の相談・支援機関等の把握を行うとともに、連携体制の確立を図った。

- ① マッチング数：652件（内、マッチング成立件数：639件、マッチング率98.0%）
- ② 立ち上げ支援数：17件

(2) 「香川子どもの未来応援情報ひろば」（子どもの未来を応援する「支援の場」と「サポーター」の情報掲載サイト）の運用管理

① 子どもの未来を応援する「支援の場」及び「サポーター」の調査・登録・管理

県内で貧困対策に取り組む子ども食堂や学習支援の場、体験活動の場等を調査し、「支援の場」として登録管理を行うとともに、「物・場・人」を提供できる人材・団体を調査・開拓し、「サポーター」として登録管理を行った。本事業の専用サイトを構築し、専用サイトから「支援の場」及び「サポーター」の登録が行えるようにした。

ア サポーター登録数：51個人、24団体

イ 支援の場登録数：67か所

② チラシ、ホームページ等を通じた情報提供

本事業及び「支援の場」を広く周知するため、「香川県子どもの未来応援ネットワーク」のパンフレットを作成し、県内行政機関、教育機関、市町社協及びその他関係機関へ配布した。

また、立ち上げ支援を円滑に行うため、子どもの居場所づくりに関するハンドブックを作成し、関係機関へ配布した。

さらに、本事業専用サイトにおいて、子どもの居場所に対する助成金の情報や「支援の場」の情報を掲載し、本事業の情報発信に取り組んだ。

(3) 子どもの貧困対策に係る地域ネットワークの連携強化

① 「香川県子どもの未来応援ネットワーク事業 全体研修会」の開催

コロナ禍の影響により、子どもや子育て家庭の社会的孤立の深化が危惧される中、地域で子どもに関わる関係者が子どもの権利を守ることの意義を共有し、子どもの自立する力を育むために何ができるかを考え、今後のネットワークづくりにつなげることを目的に研修会を開催した。

- ・ 開催日 令和3年7月15日
- ・ 会場 かがわ国際会議場
- ・ 参加者 82名

(香川県子どもの未来応援ネットワーク登録者・団体、市町社協職員、市町行政職員、主任児童委員、地域子育て支援拠点職員、子育て世代包括支援センター職員、子ども家庭総合支援拠点職員、スクールソーシャルワーカー等)

・ 内容

- 行政説明「県の子ども・子育て支援施策について」
- 講演「子どもの自立を支える為に～子どもを守り育む地域づくり～」
講師 東京ボランティア・市民活動センター 所長 山崎 美貴子 氏

② 「香川県子どもの未来応援ネットワーク事業 圏域別研修会・交流会」の開催

香川県子どもの未来応援ネットワークの登録者・団体を中心に、子どもの支援に関わる関係者同士がグループ討議や情報交換等を通して、身近な圏域において顔の見える関係を築くことで、それぞれの立場や役割の違いを知るとともに、子どもの支援におけるネットワークづくりに資することを目的に、県内を3圏域に分けて研修会・交流会を開催した。

ア 三豊会場

開催日	令和3年12月16日
会場	三豊市市民交流センター
参加者	24名 対象市町：観音寺市、三豊市 (香川県子どもの未来応援ネットワーク登録者・団体、市町社協職員、市町行政職員、学校教職員、主任児童委員、地域子育て支援拠点職員、子ども家庭総合支援拠点職員等)

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・説明「香川県子どもの未来応援ネットワーク事業について」 ・活動報告「さぬきっずまなび家プロジェクト～すべての子ども の学びと笑顔のために～」 報告者：認定NPO法人さぬきっずコムシアター 理事長 高橋 勝子 氏 ・グループ討議・情報交換 コーディネーター：香川スクールソーシャルワーカー協会 副会長 藤澤 茜 氏
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

イ 丸亀会場

開催日	令和4年2月3日
開催方法	オンライン ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、実施方法をオンラインへ変更し開催した。
参加者	33名 対象市町：丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・綾川町・琴平町・多度津町・まんのう町 (香川県子どもの未来応援ネットワーク登録者・団体、市町社協職員、市町行政職員、学校教職員、主任児童委員、地域子育て支援拠点職員、子ども家庭総合支援拠点職員等)
内容	三豊市会場と同内容

ウ 高松会場

開催日	令和4年2月3日
開催方法	オンライン ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、実施方法をオンラインへ変更し開催した。
参加者	51名 対象市町：高松市・さぬき市・東かがわ市・三木町・直島町・土庄町・小豆島町 (香川県子どもの未来応援ネットワーク登録者・団体、市町社協職員、市町行政職員、学校教職員、主任児童委員、地域子育て支援拠点職員、子ども家庭総合支援拠点職員等)
内容	三豊市会場と同内容

③ 「金銭教育ワークショップ検討会」の開催

令和4年度以降に、子どもたちがお金に対する価値観やお金の使い方等について学ぶためのワークショップを実施するため、そのプログラムを作成する検討会を6回開催した。

開催日	第1回：令和3年10月7日 第2回：令和3年11月16日 第3回：令和3年12月17日 第4回：令和3年12月23日 第5回：令和4年1月25日 第6回：令和4年3月20日
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

開催方法	第1回：香川県社会福祉総合センター 第2回：香川県社会福祉総合センター 第3回：オンライン 第4回：オンライン 第5回：オンライン 第6回：認定NPO法人さぬきっずコムシアター
検討会メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人まんまるサポート代表理事 柳田 和代 氏 ・認定NPO法人さぬきっずコムシアター理事長 高橋 勝子 氏 ・高松市社会福祉協議会 細谷 美和 氏 ・三豊市社会福祉協議会 上村 早紀子 氏 ・宇多津町社会福祉協議会 宮川 潤子 氏 ・高松信用金庫業務推進部 次長 岡田 勝博 氏 ・高松信用金庫総合企画部 小笠原 優斗 氏 ・香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課 主任指導主事 大藪 久美子 氏 ・香川大学教育学部 小学校教育コース4年 北岡 優衣 氏 ・香川大学教育学部 小学校教育コース4年 岩崎 綾夏 氏 ・(事務局)香川県社会福祉協議会
内容	<p>第1回：企画シートの作成（課題、原因、ワークショップのねらい、対象者等の検討）</p> <p>第2回：ワークショップの内容について検討</p> <p>第3回：ワークショップで実施するゲーム内容について検討</p> <p>第4回：プランニングシートの作成</p> <p>第5回：プランニングシートの作成</p> <p>第6回：ワークショップの試行、プランニングシート等の完成</p>

(4) 子どもの貧困対策に係る市町における連携体制構築の支援

地域における子どもの貧困対策を推進することを目的に、市町行政担当者を対象とし、「地域子供の未来応援交付金」を活用した県内の先進的な取組をはじめ、各市町の子どもの貧困対策状況についての情報交換会を開催した。

- ・ 開催日 令和4年2月16日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 16名
(高松市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、三豊市、三豊市社会福祉協議会、土庄町、小豆島町、三木町、三木町社会福祉協議会、琴平町)
- ・ 内容
 - 説明「地域子供の未来応援交付金」の概要説明
 - 報告「地域子供の未来応援交付金の活用事例について」
 - ・高松市
高松市地域共生社会推進室
子どもの未来応援コーディネーター 佐藤 真理子 氏
高松市子育て支援課 主任主事 徳田 佳那 氏

・三豊市

三豊市子育て支援課 課長補佐 佐柳 真樹 氏
三豊市社会福祉協議会 地域福祉推進室
主任主事 上村 早紀子 氏

(5) 「支援の場」への応援助成の実施

企業または個人の方から、子どもの育ちを支える地域づくりの推進のためにいただいた寄付金を財源に、子どもの支援に取組む団体に対し、活動を安定的に継続するための経費の助成を行った。

- ① 助成件数：11 団体
- ② 助成金額：1,309,600 円

5 香川県民生委員児童委員協議会連合会の事務局運営及び民生委員・児童委員活動との連携・協働

(1) 研修事業の実施

① 単位民児協会長研修会

- ・ 開催日 令和3年12月13日
- ・ 場 所 かがわ国際会議場、綾歌総合文化会館アイレックス
- ・ 参加者 110名
- ・ 内 容 講義（オンライン）

「単位民児協組織と会長の役割について」

講師 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科
教授 金井 敏 氏

活動報告（事前録画）

「民生委員・児童委員の活動環境整備について」

発表者 高松市太田南地区民生委員児童委員協議会
会長 深田 幸夫 氏

グループ討議

② 単位民児協副会長・中堅民生委員児童委員研修会

- ・ 開催日 令和3年9月30日
- ・ 場 所 高松商工会議所、綾歌総合文化会館アイレックス
観音寺市立中央図書館、ユープラザうたづ
- ・ 参加者 298名
- ・ 内 容 活動報告（事前録画）

「高松市香西地区の取り組み『認知症になっても安心して暮らせるまちづくり』香西長寿声かけ隊」

発表者 高松市香西地区民生委員児童委員協議会
会長 佐藤 隆男 氏

「買い物支援事業」

発表者 観音寺市豊浜地区民生委員児童委員協議会
会長 合田 守和 氏

「『災害に強い地域づくりのために』避難行動要支援者支援事業への取り組み」

発表者 東かがわ市白鳥地区民生委員児童委員協議会

副会長 福島 洋司 氏

意見交換

③ 主任児童委員研修会

ア 主任児童委員研修会（全員研修）

- ・ 開催日 令和3年7月5日、9日
- ・ 場 所 高松商工会議所、綾歌総合文化会館アイレックス
三豊市市民交流センター、綾川町綾南農村環境改善センター
- ・ 参加者 291名
- ・ 内 容 講義（オンデマンド）
「“地域のつむぎ役”となろう！」
講師 合同会社 泉恵造研修企画工房
代表社員 泉 恵造 氏

グループ討議

- 「『新型コロナウイルス感染症の対策状況』をチェックする」
講師 合同会社 泉恵造研修企画工房
代表社員 泉 恵造 氏

イ 主任児童委員スキルアップ研修会

- ・ 開催日 令和3年11月30日
- ・ 場 所 かがわ国際会議場、綾歌総合文化会館アイレックス
- ・ 参加者 125名
- ・ 内 容 講義（オンライン）
「発達障がいをもつ子どもとその家庭への支援について～こんなことに気をつけて！！～」
講師 香川大学 教育学部 教授 坂井 聰 氏

グループ討議

④ ブロック別民生委員児童委員研修会

市または各ブロック別にブロック別民生委員児童委員研修会を実施した。

（実施日と内容）

ブロック	開催日等	内 容
高松	3月8日～10日（5回実施） 築地コミュニティセンター 一宮コミュニティセンター 林コミュニティセンター 三谷コミュニティセンター ふれあい福祉センター勝賀 参加者 60名	各单位民児協会長、高松市民児連会長・副会長、高松市社会福祉協議会担当者との情報・意見交換

ブロック	開催日等	内 容
丸亀	3月2日～31日（12回実施） 各地区民児協指定場所（コミュニティセンター等） 参加者 199名	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「認知症の理解と関わり方」 講師 三豊市立西香川病院 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 白杵 寛紀 氏 介護福祉士 白川 美昭 氏 社会福祉士 威能 洋一 氏 ・人権研修「L G B T等（性的少数者）への理解を深める」 講師 丸亀市人権・同和教育指導員 平田 貴久 氏
坂出	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止 (予定していた日程) 2月18日 坂出グランドホテル	<p>(予定していた内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演「自殺予防の基礎を学ぶ～自殺予防のために私たちができること～」 講師 香川県精神保健福祉センター ・事例発表 与島地区「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり」 松山地区「民生委員活動に伴う生活困窮世帯と障がい者支援について」 金山地区「生活困窮世帯への支援と民生委員・児童委員活動」
善通寺	2月9日 善通寺市民会館 参加者 60名	<ul style="list-style-type: none"> ・研修1 「ジェンダー平等を実現しよう！」 講師 善通寺市市民生活部人権課 課長 川人 肇也 氏 ・研修2 「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり」 講師 ルーテル学院大学 教授・学術顧問 市川 一宏 氏
観音寺	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止し、資料のみ配付 (予定していた日程) 2月15日～25日 (4回実施予定) 観音寺市立中央図書館	<p>(予定していた内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉専門部会 「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり」 講師 観音寺市高齢介護課 地域包括支援センター ・障がい者（児）福祉専門部会 「障がい者が生活しやすい地域づくり」 講師 観音寺市社会福祉課 障がい者福祉係

ブロック	開催日等	内 容
観音寺		<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉専門部会 「子育ち、子育てを応援する地域づくり」 講師 香川県子ども女性相談センター 地域連携支援室 ・生活福祉専門部会 「災害に備える地域づくり」 講師 観音寺市危機管理課 <p>情報交換</p>
さぬき	10月19日～2月17日 津田保健センター、さぬき市大川公民館、志度社会福祉センター、さぬき市寒川庁舎、辛立文化センター、志度音楽ホール（中止） 参加者 130名	<ul style="list-style-type: none"> ・研修 単位民児協毎 「身近にある人権について考える」 さぬき市市民部人権推進課 山田 謙二 氏 今井 真裕美 氏 さぬき市教育委員会事務局学校教育課 松原 伸二 氏 ・講演 全体開催（新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止） (予定していた内容) 「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり」 講師 正行寺（東かがわ市）住職 赤松 円心 氏
東かがわ	7月15日～27日（3回実施） 東かがわ市交流プラザ、東かがわ市引田公民館 参加者 99名	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修 「話せてよかったです」DVD研修（大内地区） 「LGBT（性的少数）について」講義（引田地区） 「カンパニユラの夢」DVD研修（白鳥地区） ・研修（3地区共通） 「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくりのために」 講師 社会福祉法人東かがわ市社会福祉協議会 事務局次長 津野 正敏 氏
三豊	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止	
	(予定していた日程) 2月5日 三豊市文化会館マリンウェーブ	(予定していた内容) ・「障がいがある方の人権」 (令和3年度全国民生委員・児童委員リーダー研修会 講義1 DVD視聴) ・「児童委員、主任児童委員と学校の連携」 (令和3年度全国児童委員・主任児童委員活動研修会 講義2 DVD視聴)
小豆	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止	
三木町 直島町	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止	
中讃	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止	

1 - 4 県内市町社協との連携・協働による地域福祉の推進

(1) ニーズ対応型社協活動の実践と第2次アクションプランの推進

① 市町社協・県社協の連携強化と社協経営に関する協議の実施

ア 市町社協常務理事・事務局長会議の開催

【第1回】

- ・ 開催日 令和3年12月24日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 41名
- ・ 内 容

○「生活福祉資金特例貸付の今後の取組等とこれからの社協経営の課題」

香川県社会福祉協議会 事務局長兼地域福祉部長 日下 直和

○「生活福祉資金特例貸付の今後の取組」

(貸付期限の延長、償還免除・償還等の今後の手続き、自立支援金等)

香川県社会福祉協議会 地域福祉部福祉資金室 主任主事 藤本 泰成

○質疑応答

○全体協議

「生活福祉資金特例貸付の課題と今後の生活困窮者自立支援事業の取組」

「包括的支援体制の構築に向けた社協の今後の取組に向けて」

【第2回】

- ・ 開催日 令和4年2月21日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 37名(会場参加20名、オンライン17名)
- ・ 内 容

○行政説明

「『ヤングケアラーではないか』との観点を持った支援について」

香川県健康福祉部子ども政策推進局 子ども家庭課長 土手 政幸 氏

○説明Ⅰ

「社協を取り巻く経営課題と令和4年度の各社協の取組み等について」

1 令和4年度に向けた市町社協の各事業の取組みと経営上の課題等

について(各市町社協調査票の集計結果から)

2 令和4年度に向けた県社協の主な取組みについて

香川県社会福祉協議会 事務局長兼地域福祉部長 日下 直和

○説明Ⅱ

「令和4年度県社協各事業の推進について(県社協各課・室から)」

1 生活福祉資金特例貸付における令和4年度の取組みについて

2 地域福祉推進関係事業の取組みについて

○質疑応答・協議

イ 第8回県内社協実践研究大会

- ・ 開催日 令和4年1月21日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 82名(会場参加41名、オンライン41名)
- ・ 内 容

○報告

県内社協地域福祉推進委員会企画委員会・テーマ別協議について

○各社協実践研究発表

県内全社協がニーズ対応型社協の実践発表

○総括講演

「これからの地域福祉の展開と社協の役割

講師 日本地域福祉研究所理事長 大橋 謙策 氏

ウ 地域福祉推進委員会、企画委員会の開催

地域福祉推進委員会と令和2年度に新たに設置した企画委員会それぞれにおいて、社協をめぐる現状と課題、地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進、社協組織の基盤整備、人材育成等について、協議を重ねた。また、「ニーズ対応型社協活動の実践とその組織体制の確立に向けた第3次アクションプラン」策定に向けた協議も開始した。

○地域福祉推進委員会

回数	開催日	協議事項
第1回	令和3年 4月30日	(1)ニーズ対応型社協の実践、各社協強化発展計画の取組状況について (2)令和3年度以降の委員会、各部会の進め方、協議内容について (3)その他
第2回	7月19日	(1)重層的支援体制整備、おもいやりネットワーク、権利擁護等の取組について (2)企画委員会、各部会の位置付けと取組内容の確認について (3)ニーズ対応型社協活動の実践、強化発展計画について (4)本年度の常務理事・事務局長セミナーの内容について (5)その他
第3回	10月21日	(1)企画委員会等での協議について (2)包括的支援体制構築に向けた県内社協の取組の現状と課題の整理 (3)今後の進め方について (4)その他
第4回	令和4年 1月27日	(1)企画委員会での協議について (2)災害時支援協定の見直しについて (3)第3次アクションプラン策定に向けた今後の進め方について (4)包括的支援体制構築に向けた県内社協の取組の現状と課題の整理 (5)その他

○企画委員会

回数	開催日	協議事項
第1回	令和3年 6月21日	(1)昨年度の企画委員会での協議内容の確認と本年度の取組について（ICT化の取組及び複数の市町社協による事業の共同実施について） (2)地域福祉部会、職員部会で協議する内容について (3)令和3年度に実施する研修について (4)その他

回数	開催日	協議事項
第2回	8月10日	(1)企画委員会、各部会の位置付けの確認と今後の取組内容について (2)地域福祉推進委員会での協議や各社協の現状や課題を踏まえ二 ーズ対応型社協活動次期（第3次）アクションプラン策定に向け た課題整理 (3)その他
第3回	8月31日	(1)企画委員会、各部会の位置付けの確認と今後の取組内容について (2)企画委員会で今後協議するテーマとメンバー、今後の進め方に ついて (3)その他
第4回	10月13日	(1)テーマ別協議報告 (2)全体協議（各テーマの取組や課題の共有と今後の進め方に ついて、第3次アクションプラン策定に向けて） (3)その他
第5回	12月21日	(1)テーマ別協議報告 (2)全体協議（各テーマの取組や課題の共有と今後の進め方に ついて、第3次アクションプランの内容（全体）と策定に 向けた今後のスケジュール） (3)その他
第6回	令和4年 3月17日	(1)各テーマの取組や課題の共有と第3次アクションプラン全体の 内容について (2)今後のスケジュールについて (3)その他

② 人材確保・育成の取組と研修等の実施方法の検討

ア 社協職員基礎研修

- ・ 開催日 令和3年4月23日
- ・ 場所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 26名
- ・ 内容

○講義1「望まれる社協職員になるためには（仕事の取組み方、こころ構えに
について」

講師 香川県社会福祉協議会 常務理事 高木 康博

○講義2「社協の基本的理解と新任職員への期待」

講師 香川県社会福祉協議会

事務局長兼地域福祉部長 日下 直和

○講義3「いま、人権を意識する」

講師 弁護士 松本 タミ 氏

○先輩社協職員からのメッセージ

- ①坂出市社会福祉協議会福祉推進係主任主事 松原 秀和 氏
- ②高松市社会福祉協議会介護サービス課主査 吉田 尚子 氏

○個人ワーク・全体共有

イ 第10回常務理事・事務局長等セミナー

- ・ 開催日 令和3年11月17日
- ・ 場所 ルポール讃岐
- ・ 参加者 24名
- ・ 内容

○講演「コミュニティソーシャルワークを担うことのできる組織とそれを担う職員育成等のこれからの中の社協経営のあり方」

講師 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所

理事長 大橋 謙策 氏

○報告「コロナ禍における香川県内社協の取組と課題」

社会福祉法人香川県社会福祉協議会 地域福祉部

○実践報告とグループコンサルテーション(2社協)

テーマ「長引くコロナ禍における地域福祉実践と社協経営の課題」

【実践報告】

社会福祉法人善通寺市社会福祉協議会

事務局長 村井 美保 氏

社会福祉法人東かがわ市社会福祉協議会

事務局次長 津野 正敏 氏

【アドバイザー】

特定非営利活動法人日本地域福祉研究所

理事長 大橋 謙策 氏

ウ 第4回（令和3・4年度）香川県内社協職員次世代育成研修会（香川社協アライアンスセミナー）前期部分及び勉強会の開催

【前期部分】

- ・ 開催日 令和3年12月14日・15日
- ・ 場所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 13名
- ・ 内容 講義及び演習
 - ①講義「包括的・重層的支援とコミュニティソーシャルワーク」
 - ②演習「個別困難事例に基づく社会生活モデルに基づくアセスメント」
 - ③演習とコメント「アウトリーチ型ソーシャルワークのロールプレイ」
 - ④講義等「社会福祉協議会組織論」

【勉強会】

- ・ 開催日 令和4年2月10日
- ・ 場所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 13名（会場5名、オンライン8名）
- ・ 内容 課題解決型プログラムの作成について

- エ 社協事業所における新型コロナウイルス感染症への対応等に関する研修会
- ・ 開催日 令和3年6月7日（オンライン実施）
 - ・ 参加者 35名
 - ・ 内容 講義及び質疑応答、協議
「職場内で新型コロナウイルス感染症の患者が発生した際の対応等について」
講師 看護師 安本一実 氏
- オ 社協役員研修の開催（地域共生社会セミナーと共催）
- ・ 開催日 令和4年2月9日
 - ・ 場所 香川県社会福祉総合センター、オンライン併用
 - ・ 参加者 24名
 - ・ 内容 講義「コロナ禍から見えた地域生活課題とこれからの地域づくり」
講師 特定非営利活動法人抱樸 理事長 奥田知志 氏

（2）ニーズ対応型社協活動の実践

「ニーズ対応型社協活動第2次アクションプラン（令和2～4年度）」において、各市町で策定したアクションプランに基づく地域福祉実践を支援し、各市町で開催された香川おもいやりネットワーク事業の地域ネットワーク会議や災害研修に県社協地域担当が参加した。

2 災害福祉支援ネットワークの構築

1 災害福祉支援ネットワーク構築事業の実施

今年度は、香川県災害福祉支援ネットワーク会議1回と6回の研修や訓練を実施し、施設関係団体・職能団体等から推薦された香川県災害派遣福祉チーム員（支援隊）を養成した。

（1）会議の開催状況

香川県災害福祉支援ネットワーク協議会の開催

- ・ 開催日 令和3年8月5日
- ・ 場所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 協議事項 会長、副会長の選出について
令和2年度事業報告について
令和3年度事業計画・予算（案）について
香川DWAATの研修等について
災害対応力向上のための研修について
部会の開催について

（2）研修会の開催状況

ア 社会福祉施設等における事業継続計画（BCP）策定研修【基礎編】

- ・ 開催日 令和3年10月6日

- ・ 方 法 オンライン
- ・ 内 容 講義「社会福祉施設における事業継続計画策定の基礎知識」
講師 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携機構
特命准教授 磯打 千雅子 氏

イ 香川県災害派遣福祉チーム【香川DWAT】（支援隊）登録研修

- ・ 開催日 令和3年10月20日
 - ・ 方 法 オンライン
 - ・ 参加者 新規登録者15名
 - ・ 内 容 講義1「災害派遣福祉チーム（DWAT）とは」【香川県社協】
講義2「災害時要配慮者支援と変遷」
講義3「災害の進行と被災者がおかれる状況の理解」
講義4「被災者の支援と災害派遣福祉チームの機能」
演習1「避難所における被災者支援（チャットワーク）」
演習2「被災者支援の主体の理解（グループディスカッション）」
演習3「避難所における被災者支援の理解①
(グループディスカッション)」
演習4「避難所における被災者支援の理解②
(グループディスカッション)」
講義5「DWATにおける被災者支援の視点」
- 講師 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do
代表 粕原 英文 氏
研究員 菅原 清香 氏

ウ 災害時状況報告システムの機能訓練の実施

- ・ 実施日 令和3年11月5日
- ・ 対 象 香川県社会福祉法人経営者協議会 全会員法人
- ・ 方 法 ①LINE WORKSによるアンケート機能の入力、送信
②Googleフォームによる災害時状況報告システムの入力、送信
- ・ 結 果 香川県経営協の会員法人 84法人のうち、
①LINE WORKSによる回答…32法人
②Googleフォームによる回答…39法人 の回答があった。

エ 香川県災害派遣福祉チーム【香川DWAT】活動訓練

- ・ 開催日 令和3年12月14日
- ・ 場 所 Pikaraスタジアム（香川県立丸亀競技場）
- ・ 参加者 42名

オ 社会福祉施設等における災害対応力向上研修会

- ・ 開催日 令和4年1月25日
- ・ 方 法 オンライン
- ・ 内 容 講義「社会福祉施設における災害への事前対策
～ハザードマップの見方と災害リスクの確認～」
講師 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携機構

危機管理先端教育研究センター 副センター長
特命教授 野本 純浩 氏

力 社会福祉施設等における事業継続計画（B C P）策定研修【実践編】

- ・ 開催日 令和4年2月25日
- ・ 方法 オンライン
- ・ 内容 講義「社会福祉施設における事業継続計画策定の実践的な対応」
講師 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携機構
特命准教授 磐打 千雅子 氏

(3) 災害用資機材等の購入

災害用資機材を購入し、香川県社会福祉法人経営者協議会の拠点法人が圏域ごとに保管することで、災害時に香川県災害派遣福祉チーム等が活用しやすい体制を整えた。

2 災害ボランティア活動への支援

災害時における要援護者支援活動や災害ボランティア活動を支援するため、平時から地域住民、ボランティア団体、社協等福祉関係者の連携・協働を密にし、災害発生時に迅速かつ円滑な支援活動ができるよう広域的ネットワークづくりに取り組んだ。

(1) 災害ボランティア活動への支援

① 香川県災害ボランティア連絡協議会の運営

【第1回】

- ・ 開催日 令和3年12月10日
- ・ 場所 日本赤十字社香川支部 ボランティアルーム
- ・ 参加者 15名
- ・ 内容 ○香川県災害ボランティア連絡協議会の設置要綱一部変更について
○テーマ別協議
○防災とボランティアのつどい打合せ

【第2回】

- ・ 開催日 令和4年2月18日
- ・ 場所 日本赤十字社香川支部 ボランティアルーム
- ・ 参加者 11名
- ・ 内容 防災とボランティアのつどいについて

② 県内社会福祉協議会災害対応に係る担当者会の開催

【第1回】

- ・ 開催日 令和3年6月8日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 内容 説明
○全社協職員派遣における考え方 及び全社協作成ボランティア受付システムについて

- 県社協被災者支援のネットワークイメージ図について
- 令和3年度 災害支援関係行事予定について
- 被害状況フォームおよびポータルサイトについて
- 災害ボランティア福祉教育プログラムについて
- グループ討議
- 全体共有

【第2回】

- ・ 開催日 令和4年3月3日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 内 容 講義「日本赤十字社香川県支部の災害救護活動について」
講師 大林 武彦 氏
(日本赤十字社香川県支部事業推進課長)
説明「災害ボランティアセンターを取り巻く全国的な動きについて」
グループ討議
全体共有

③災害ボランティアに関する三者連携訓練への参加

- ・ 開催日 令和4年1月28日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 三豊市、三豊市社会福祉協議会、三豊青年会議所、三豊ライオンズクラブ、観音寺市、観音寺市社会福祉協議会、香川大学、日本青年会議所香川ブロック協議会、日本赤十字社香川県支部、香川県社会福祉協議会、香川県
- ・ 内 容 災害ボランティアセンター設置・運営における三者連携訓練
意見交換等

(2) 災害ボランティア研修の開催

- ① 県内被災者支援団体における災害ボランティア交流研修
 - ・ 開催日 令和3年9月18日
 - ・ 会 場 香川県薬剤師会 朝日町会館
 - ・ 内 容
 - 社会福祉協議会が担う災害ボランティアセンターの役割について
 - 災害ボランティアセンター シミュレーションゲーム
 - ・ 講 師 関 晃 氏 (三豊市社会福祉協議会地域福祉推進課長)
高橋 真里 氏(国立大学法人香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構)
 - ・ 参加者 33名 (県内市町社協職員、日本青年会議所香川ブロック協議会、ライオンズクラブ)
- ② 災害ボランティアセンター運営者養成研修
 - ・ 開催日 令和3年11月29日、30日

- ・会場 香川県社会福祉総合センター
- ・内容 シンポジウム「被災地支援の現場から」
講義「災害支援の全体像と社会福祉協議会が担う災害ボランティアセンターの役割について」
演習「災害ボランティアセンター マッチングカードゲーム」
講義「災害ボランティアセンターから復興期の支援活動につなぐ」
- ・講師 山崎 博之 氏（長野県社会福祉協議会）
佐々木 史也 氏（長野県佐久穂町社会福祉協議会）
松山 弥史 氏（熊本県八代市社会福祉協議会）
高橋 真里 氏（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構地域強靭化研究センター）
※佐々木氏、松山氏はオンライン登壇
- ・参加者 22名（県内市町社協職員）

（3）四国ブロック県社協等との災害時における連携のあり方の協議

四国ブロック県社協災害支援担当者会議への参加

① 第1回

- ・開催日 令和4年2月17日
- ・開催方法 オンライン
- ・協議事項 災害時における四国4県社協の相互支援のあり方について

② 第2回

- ・開催日 令和4年3月29日
- ・開催方法 オンライン
- ・協議事項 災害時における四国4県社協の相互支援のあり方について

3 福祉人材確保・育成・定着

3-1 福祉人材センター事業の充実・強化

1 福祉人材無料職業紹介事業の実施

福祉人材無料職業紹介所として、求人・求職情報の収集提供に努めるとともに、福祉の職場に就職を希望する方の相談・就職斡旋を行った。

（1）求人・求職の登録、職業紹介状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
求人数	人数	493	191	476	432	152	397	424	164	361	461	196	438	4,185
	件数	91	44	89	79	43	74	84	50	86	87	51	98	876
求職者数	239	180	137	167	175	142	196	173	131	165	172	140	2,017	
(新規求職者数)	96	26	25	26	23	16	38	25	18	14	19	16	342	
紹介数	7	3	15	5	12	1	11	13	6	9	4	40	128	

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
応募数		0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
就職者数		6	3	8	4	8	4	6	12	7	9	4	38	109
相談	求人	13	15	33	19	25	12	18	26	22	14	22	11	230
	求職	73	77	116	84	94	95	104	123	93	72	70	100	1,101

(2) 求人・求職の登録、職業紹介状況(介護)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
求人数	人数	169	82	210	127	58	209	147	55	157	156	58	195	1,623
	件数	37	23	50	35	15	40	36	16	44	35	17	51	399
求職者数	168	93	96	117	99	105	144	89	89	113	91	99	1,303	
(新規求職者数)	67	11	19	18	14	14	31	14	9	6	13	14	230	
紹介数	2	2	6	1	3	0	10	5	3	1	0	29	62	
応募数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
就職者数	1	1	1	0	1	1	5	6	3	1	0	27	47	
相談	求人	10	12	27	14	22	9	14	21	12	12	16	8	177
	求職	40	37	63	32	60	59	73	63	48	35	28	56	596

(3) 就職相談

- ・毎月第4土曜日（要事前予約） 相談件数：来所 2件

(4) 福祉情報の提供

- ① 案内チラシの郵送やホームページ、SNS（フェイスブック）などを通じ、各種講習会、福祉の職場説明会の案内等福祉に関する情報の提供を行った。
- ② 求職者の円滑な就職活動及び求人施設の採用活動を支援するため、求職・求人申込みに対し、福祉人材情報システム「福祉のお仕事」を活用し、迅速に求人・求職登録を行うとともに、求人情報を掲載した。
求人へのアクセス数 19,620件(内mobile 75件)
- ③ 求職登録者に対し、メール、SNS（フェイスブック）、郵送等で「福祉のお仕事」に掲載した求人情報を案内した。
- ④ ハローワークの求人情報オンライン提供サービスを活用し、求職者からの就職相談等に対応した。(ハローワーク紹介数 14件)

(5) 福祉人材情報システム「福祉のお仕事」の活用・運営

福祉人材情報システム「福祉のお仕事」を活用し、求人・求職情報等の迅速な提供、効率的な事務処理を図った。

- ① 求人・求職登録の管理
- ② 潜在介護福祉士等届出者登録の管理
- ③ 紹介状の作成
- ④ 月次、年次統計の作成
- ⑤ 求職者・届出者のパソコン、スマートフォン向け情報メールの送信

(6) 広報・啓発事業の実施

事 業 内 容	実施回数等	
① ホームページ等での情報提供 ・県社協ホームページでの情報提供 ・福祉人材センターFacebook 等での情報提供	福祉のしごと相談会、福祉の職場説明会、保育士就職フェア、職業体験研修、介護職リストアート研修、就職フェア、職場体験、職業体験、各種研修情報	
② 「福祉の職場説明会」の広報	ちらし	3,000 部
③ 「福祉のしごとサポートフェア」の広報	ちらし ポスター 香川県広報誌 エフエムサンラジオ番組出演	6,000 部 50 部 1 回 1 回
④ 「介護の資格」届出制度の広報	電車広告(年間)	1 回
⑤ Facebook 及び Instagram 広告	保育のしごと相談会	1 回
⑥ 介護現場における多様な働き方導入モデル事業の広報	ちらし(2種類) 四国新聞広告 パンフレット ノベルティ(はっ水クルマキバッグ)	10,000 部 1 回 10,000 部 960 個

(7) 運営委員会の開催(文書審議)

- ① 第1回
 - ・ 審議内容 令和2年度事業報告について
令和3年度事業計画について
- ② 第2回
 - ・ 審議内容 委員長の選任について
令和3年度事業実施状況について
令和4年度事業計画(案)について

2 社会福祉事業従事者的人材確保と育成

(1) 「福祉の職場説明会」の開催

福祉関係の職場への就職を希望される方を対象に、社会福祉施設・職種の紹介や業務内容の説明会を開催した。今年度は、県内の新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い、オンライン上で県内の福祉施設・事業所の求人情報や職場の魅力等を紹介し、その後、対面形式で説明会を開催した。

開催日	開催形式	参加者	参加事業所
令和3年 10月1日	オンライン (社会福祉施設等担当者による施設概要、業務内容、労働条件等の求人説明)	48名	24事業所
10月29日	対面 (会場 高松シンボルタワー展示場)	一般19名 学生9名	15事業所

(2) 福祉人材確保研究会の開催（オンライン）

社会福祉施設・事業所職員に対し、新型コロナウイルスの感染症の影響が続く中、採用活動の手法の一つとして導入が進むWEB面接の導入・実施に向けて、各社会福祉施設・事業所の魅力の伝え方や効果的なアピール方法などを学ぶことを目的に開催した。

開催日	内 容	参加者
令和4年 2月22日	「就職フェアに向けた採用力向上セミナー～コロナ禍における採用市場の変化を捉え、採用成功を実現させるために～」 講師 (株)マイナビ 人事コンサルティング課 パートナーコンサルタント 山本 陽亮 氏	16 事業所 22名

(3) 人事労務管理セミナーの開催（オンライン併用）

香川県社会福祉法人経営者協議会と共に、中小企業においても令和4年4月からパワーハラスマント防止措置が義務化となること等から、福祉施設における実務対応について理解を深めることを目的に開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者
令和3年 11月19日	香川県社会福祉総合センターまたはZOOMミーティング	「昨今の労働関係法令改正のポイントと実務対応」 講師 社会保険労務士 佐藤 秀樹 氏	27 事業所 32名

(4) 社会福祉施設等職員採用内定者研修会の開催（オンライン併用）

社会福祉施設の職員採用活動を支援するため、採用内定者のうち新規学卒者を対象に「コミュニケーション技法」を内容とする研修会を開催した。

回	開催日	場所	内 容	参加者
第1回	3月4日	香川県社会福祉総合センターまたはZOOMミーティング	・福祉職場におけるコミュニケーションとは ・福祉職のプロとしての心構え 講師 侍留社会保険労務士事務所 侍留 慶子 氏	14名
第2回	3月14日			23名

3 人材確保に関する機関・団体及び福祉養成校との連携

(1) 県内ハローワーク、香川県介護福祉士会などの関係機関、団体との連携

ハローワーク高松、香川県介護福祉士会等の関係機関・団体と連携をとりながら事業の円滑な運営を図った。

また、介護職場の魅力PRと質の高い介護人材の確保を図ることを目的として、国（香川労働局及び県内各ハローワーク）、県、関係団体、関係機関及び学校関係者が連携して、ワンストップサービスの観点から、DVD上映会、体験セミナーフェア等を実施した。

① DVD上映会&介護体験セミナー

開催日	場 所	内 容	参加者
毎月第3火曜日 (計12回)	ハローワーク高松	求職者向けDVD上映会	102名

※コロナ禍のため、DVD上映のみ開催。

- ② かがわーく（年3回）
新型コロナウイルスの影響で規模縮小のため不参加。
- ③ 介護就職デイ（介護のしごと就職フェア：ハローワークとの共催事業）
新型コロナウイルスの影響で規模縮小のため、ハローワーク高松にて単独開催となった。

（2）福祉読本の作成・配布

県内高校及び県外福祉人材養成校への訪問は、新型コロナウイルスの影響により昨年度に引き続き中止となったが、香川県老人福祉施設協議会と共同で福祉読本「わくわくどきどき介護ってすばらしい」を作成し、県内の中学校及び高校へ送付するとともに、中高生の職業体験研修参加者へ配付した。

（3）福祉人材養成施設との連携

福祉人材養成校及び介護労働安定センター香川支部において就職ガイダンスを開催し、県内社会福祉施設・事業所の概要、福祉人材センターへの求職登録方法、求職活動における留意点等について説明した。また、福祉職養成校での就職ガイダンスはコロナ禍のため中止したが、求職票等を郵送し、求職登録を促した。

福祉人材養成校	開催日	参加者数	登録者数
香川短期大学	4月5日	14名	14名
四国学院大学専門学校	4月12日	5名	5名
四国医療福祉専門学校	4月23日	22名	18名
介護労働安定センター香川支部 (介護労働講習受講者)	9月3日	26名	5名
合 計		67名	42名

（4）介護に関する入門的研修における就職支援

香川県介護福祉士養成校連絡協議会が実施する介護未経験者向けの入門的研修において、研修受講者に対し就職支援の説明を行うとともに、介護福祉士等の届出制度について周知を行った。

研修開催校	期 日	受講者	求職登録者 届出者
四国学院大学専門学校	10月9日	8名	届出者 3名
穴吹パティシエ福祉カレッジ	10月21日	8名	
さぬき福祉専門学校	11月6日	12名	届出者 1名

（5）四国ブロック福祉人材センター研究協議会・マッチング機能強化研修会の開催

- ・ 開催日 令和3年11月8日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 19名（中央福祉人材センター・四国各県人材センター）
- ・ 内 容 全国的情勢報告・基調説明
各県の取組状況の報告
各県提出議題協議

四国ブロックマッチング機能強化研修
講義「マッチング業務に活かすコーチングスキルについて
～未職者や求人事業所の本当のニーズを掴むために～」
社会保険労務士 石原 誠吾 氏

3－2 福祉・介護マンパワーの確保

1 福祉・介護人材マッチング支援事業の実施

- ・ 求職ニーズの把握

専門員が県内地域の集会施設やハローワークに出張し、求職者と個別に面接・相談を行い、それぞれの求職者のニーズ及び適性を把握したうえで、適切な仕事及び職場を紹介した。

- ・ 求人ニーズの把握

専門員が随時、事業所や施設を巡回訪問して求人事業所のニーズや課題等を把握し、働きやすい職場づくりに向けた人材育成・労働環境・経営管理等の情報提供を行った。

- ・ 就職フェアの開催

求人施設・事業所と求職者の効率的なマッチングが行えるよう、県内全域及び地域別の就職フェアを開催した。

- ・ 就職後の定着促進

専門員が福祉人材センターのあっ旋による就職後間もない職員がいる事業所を訪問し、就労についての悩みや疑問について相談支援を行った。

(1) 福祉のしごとサポートフェア・職場説明会の開催

① 県内全域を対象とした職場説明会

開催日	会 場	内 容	視聴参加者	参加事業所	
令和3年 8月3日	高松シンボルタワー	コロナ感染者数増加のため中止			
令和4年 3月18日	高松シンボルタワー	コロナ感染者数増加のためオンライン説明会に変更	33名	25 事業所	

② 地域別の職場説明会（丸亀）

開催日	会 場	内 容	参加者	参加事業所
令和3年 7月10日	オークラホテル 丸亀	・求人説明コーナー ・就職相談コーナー ・ハローワーク丸亀コーナー	35名	18 事業所

(2) 施設・事業所巡回訪問

巡回事業所・施設数 5 施設・事業所

○サービス付き高齢者向け住宅 1 施設

アゼリア木太

○障害福祉サービス事業所 2 施設

一般社団法人緑の里、

(有) ウエルネット (みらトレワークスM)

○保育所 2 施設

みらい学園、桃山保育所

(3) 小規模事業所人材育成・定着支援事業（オンライン）

小規模事業所においては、日ごろの業務との兼ね合いから、人材育成・定着に対して十分に対応できていないことから、今年度は介護職員の離職防止を目的に、介護職のためのストレスケア研修を実施した。

開催日	内 容	参加者
令和4年 2月1日	「介護職のためのストレスケア～まずは自分の ケアから～」 講師 社会保険労務士 石原 誠吾 氏	10名

(4) 相談会・登録会等の開催

①定例の相談会

開催場所	相談者数	求職登録者数
ハローワーク高松 (毎月第2・第4水)	93名	74名
しごとプラザ高松 (毎月第4月)	24名	21名
ハローワーク丸亀 (毎月第1・第3木)	64名	44名
ハローワーク観音寺 (毎月第3水)	22名	9名
ハローワークさぬき (毎月第1水)	12名	11名
合 計	215名	159名

②福祉のしごと相談・求職登録会の開催

開催場所	相談者数	求職登録者数
イオンモール高松	9名	2名
ユープラザうたづ	27名	6名
合 計	36名	8名

(5) 職業体験事業の実施

福祉・介護の仕事に関心を持っている中高生に、職場体験を行う機会を提供することにより、福祉・介護分野への就労及び定着の促進を図った。

夏休みの職業体験は、昨年度に引き続き半日体験、1回の受入については2名までとし、76名の参加があった。また、春休みの職業体験は、新型コロナウイルスの感染状況により施設での体験が実施できなかったため、福祉読本「わくわくどきどき介護ってすばらしい」の配付に変更し、参加申込者74名に配付した。

【夏】

○事前研修

- ・西会場（ユープラザうたづ）日程：令和3年7月28日
- ・東会場（香川県社会福祉総合センター）日程：令和3年7月29日

○体験日 8月2日～8月6日

○参加者 76名

○協力施設・事業所 19施設・事業所

- ・高齢者施設 12事業所

特別養護老人ホーム5事業所、介護老人保健施設2事業所、デイサービスセンター5事業所

- ・障害者施設 2事業所

指定障害福祉サービス事業所(多機能型)2事業所

- ・保育児童分野 5事業所

保育所3事業所、認定こども園1事業所、幼稚園1事業所

(6) 学生と介護福祉士の意見交換会の開催

香川県介護福祉士会との共催で、在学中の学習意欲の向上と卒業後の進路選択の一助とし、次世代の介護人材養成を図ることを目的として、介護福祉士養成施設の学生と社会福祉施設で働く介護福祉士との意見交換会を開催した。

内容 ① 社会福祉施設等で働く介護福祉士による講話

② 質疑・意見交換

開催日	場 所	講 師	参加者
10月15日	四国医療福祉専門学校	香川県介護福祉士会 池ノ内祐也	1年生 23名
10月20日	香川県立丸亀城西高等学校	香川県介護福祉士会 三井早苗	2・3年生 23名
11月15日	香川県立飯山高等学校(福祉系列)	香川県介護福祉士会 三井早苗、池ノ内祐也	2年生 10名
11月16日	香川短期大学 生活文化学科生活介護福祉専攻	香川県介護福祉士会 三井早苗	1年生 10名
11月30日	四国学院大学専門学校	香川県介護福祉士会 三井早苗、池ノ内祐也	1年生 10名
合 計			76名

2 潜在的有資格者再就業等促進事業の実施

(1) 職場体験事業の実施

福祉・介護の仕事に関心を持っている人に職場体験を行う機会を提供することにより、福祉・介護分野への就労及び定着の促進を図った。

参加施設・事業所

分野	種別	参加施設・事業所数	延べ体験参加者数(名)	就職者数(名)
高齢	特別養護老人ホーム	18	1	
	養護老人ホーム	1		
	有料老人ホーム	2		
	介護老人保健施設	2		
	老人保健施設	1		
	老人デイサービスセンター	7	3	
	グループホーム	2		
計		33	4	0

(2) 介護職リスタート研修の実施

香川県介護福祉士会との共催で、福祉の職場への就職を希望される方、福祉の仕事に関心のある方を対象に3回の研修を実施した。

回	開催日	内容	参加者
第1回	令和3年10月12日	移動、移乗介助	14名
第2回	令和3年11月18日	着脱介助	14名
第3回	令和3年12月8日	排泄介助	12名
延べ人数			40名

(3) 潜在的有資格者等掘り起こし事業の実施

① 施設事業所退職者に対するアンケート調査及び介護の届出制度の周知

一般財団法人香川県民間社会福祉施設振興財団(以下、「振興財団」)と連携し、振興財団の退職共済契約施設を退職した方を対象に、退職理由及び今後の求職活動等について、アンケート調査を行った。

このうち、退職者1名が、介護助手導入支援モデル事業に応募、採用となった。

調査方法	郵送(返信用封筒同封)		
回答時期	令和3年4月～令和4年3月		
送付数	551通(回答数144通 回答率26.1%)		
照会内容	(1) 年代 ・20～30代 43人 ・40～50代 48人 ・60代～ 52人 (2) 離職前の就業分野 ・高齢者福祉 59人 ・障害者福祉 29人 ・児童福祉 32人 ・その他 5人 (3) 離職前の職種 ・介護職 52人 ・保育士、児童相談員 26人 ・生活支援員 17人 ・看護師 13人 ・相談員、指導員 7人 ・その他 28人		

照会内容	(4) 離職理由（主な理由）
	<ul style="list-style-type: none"> ・定年、雇用期間満了 35人 ・法人、事業所の運営の在り方に不満 31人 ・心身の不調 27人 ・職場の人間関係 25人 ・様々な職場を経験してみたい 19人 ・結婚、出産、育児 14人 ・将来の見込みが立たなかった 14人 ・給与、給与体系 13人
	(5) 現在の状況(主なもの)
	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉分野で働いている 53人 ・就業していないが求職中 32人 ・就業していない 26人 ・福祉分野以外で働いている 14人

② 介護に関する入門的研修における介護福祉士等の届出制度登録の周知

香川県介護福祉士養成校連絡協議会が実施する介護未経験者向けの入門的研修において、研修受講者に対し就職支援の説明を行うとともに、介護福祉士等の届出制度について周知を行った。

3 香川県保育士就職支援事業の実施

保育士資格を有しながら保育施設で働いていないが、働く意欲をもっている潜在保育士等の就職相談、職業紹介を行うため、コーディネーターを配置し、潜在保育士の再就職支援を行った。

(1) 求人・求職の登録、職業紹介状況(保育士)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
求人数	人数	170	44	152	131	46	87	127	73	86	165	87	99	1,267
	件数	40	14	30	31	15	22	32	22	26	40	22	32	326
求職者数	71	87	41	50	76	37	52	84	42	52	81	41	714	
(新規求職者数)	29	15	6	8	9	2	7	11	9	8	6	2	112	
紹介数	5	3	9	4	9	1	1	8	3	8	4	11	66	
応募数	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
就職者数	5	2	7	4	7	3	1	6	4	8	4	11	62	
相談件数	求人	3	3	6	5	3	3	4	5	10	2	6	3	53
	求職	33	40	53	52	34	36	31	60	45	37	42	44	507

(2) 就職フェアへの参加(求職相談)

相談会名	開催日	事業所数	参加者数	相談者数	登録者数
かがわ保育士就職フェア	令和3年8月9日	コロナ感染者数の増加のため中止			
保育士就職オンライン面談会	令和3年11月23日	17名	13名	5名	1名

(3) 保育士再就職支援セミナーへの参加（求職相談）

回	開催日	会 場	内 容
第1回	令和4年 1月 30日	コロナ感染者数 の増加のため オンライン開催	特別公演（子どもの心の専門家）発達について
第2回	2月 13日		実技セミナー 造形あそび
第3回	2月 26日		実技セミナー 読み聞かせ

(4) 「福祉のしごと」相談・求職登録会

開催場所	相談者数	登録者数
ハローワーク高松	15名	3名
しごとプラザ	2名	0名
ハローワーク丸亀	1名	0名
イオンモール高松	2名	2名
ユープラザうたづ	6名	3名

(5) 福祉人材センター来室相談者 53名（うち新規登録者 27名）

(6) 施設事業所巡回訪問 訪問施設 3施設、就職者のフォロー6名

4 介護現場における多様な働き方導入モデル事業の実施

多様化、複雑化する介護ニーズに対応するため、介護助手や他業種からの新規参入者等多様な人材の参入を促しつつ、外部コンサルタント等を活用し、リーダー的介護職員の育成等チームケアの実践を強力に推進することにより、介護人材の参入環境の整備、定着促進とサービス利用者の自立支援・満足度の向上を図るためにモデルケースを作ることを目的に実施した。

(1) モデル事業所募集説明会の実施

開催日 令和3年8月17日

開催形式 オンライン

内 容 ① 令和3年度事業の説明及び令和2年度事業の実績報告
② 令和2年度モデル介護事業所の体験談

(2) 介護助手等希望者に対する説明会の実施

	リハビリホームあすか 高松木太	介護老人保健施設サン フラワー	介護付き有料老人ホー ムましま	特別養護老人ホームと よなか荘	特別養護老人ホームマ リアの園	その他	合計
説明会 開催日	10月18日 香川県社会福祉総合 センター		10月13日 長尾公民館	10月19日 とよなか荘	10月14日 マリアの園		
問合せ	8	11	3	9	0	15	46
説明会 参加		11	3	8	7	0	29
見学・ 面接	2	6	1	3	3	1	16
採用	1	1	1	3	3	1	10

(3) 企画評価委員会の設置及び運営

- 第1回 令和3年 9月10日 モデル介護事業所の選定について
- 第2回 令和3年 12月16日 事業計画書について
- 第3回 令和4年 3月10日 介護助手等向けアンケートについて
事業報告書について

(4) モデル介護事業所への取組み支援（介護労働安定センター香川支部へ再委託）

- ①リーダー的介護職員等の人材育成
- ②キャリアパスの明確化
- ③利用者の重度化予防
- ④介護職員のキャリア、専門性に応じたサービス提供体制のもとでの、多様な人材によるチームケアの実践（受入体制の整備、周辺業務の切り出し、各種研修等）

(5) 介護助手等向け研修の実施

介護助手等に対し、高齢者とのコミュニケーション力向上を目的とし実施した。

下記DVDの中から各事業所の担当者により選定されたものを貸出し、視聴及び内容の振り返りを行う。

実施期間：令和3年12月1日～令和4年1月20日

研修用DVD

- ①『認知症の人といっしょに生きる』
- ②『介護職のコミュニケーション技術～利用者とかかわるスキルの習得と実践～』
- ③『認知症の“人の気持ち”～思いを理解してかかわる～』

(6) 介護助手等向けアンケートの実施

① 基本情報

年齢 30代…1名、50代…2名、60代…9名、70代…2名

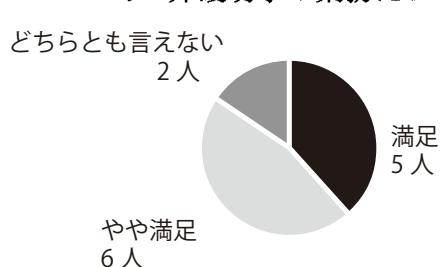
性別 男性…4名、女性…9名

勤務時間 平均3.8時間/日

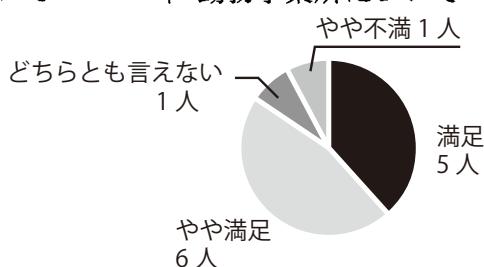
勤務日数 平均4.7日/週

② 満足度

ア 介護助手の業務について



イ 勤務事業所について



5 福利厚生センター事業の充実と加入促進

社会福祉法人福利厚生センターの香川事務局として、県内社会福祉事業従事者に対して福利厚生サービスを提供するとともに、未加入法人への加入促進に努めた。

(1) 加入状況 81法人 175施設・団体 会員数 4,263名

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行や食事会などの会員交流事業を中止し、全国共通の食事券の斡旋を行ったほか、全国共通のギフトカードを会員全員に配布した。

QUOカードの配布 4,263枚（単価2,000円）

3－3 資格取得支援等事業の推進

1 介護福祉士修学資金等貸付事業の実施

(1) 介護福祉士修学資金等の貸付

質の高い介護福祉士又は社会福祉士の養成確保を目的として、香川県内及び県外の介護福祉士・社会福祉士養成施設に在学する学生に対し、修学資金の貸付けを実施した。

①令和元年度貸付決定者分

貸付者数	1人
内訳	4年課程3年生
令和3年度貸付額	600,000円

②令和2年度貸付決定者分

貸付者数	72人
内訳	2年課程2年生
令和3年度貸付額	42,680,000円

③令和3年度貸付決定者分

	貸付者数	人数	貸付決定額	令和3年度貸付額
内訳	2年課程1年生	59人	93,980,780円	45,185,520円
	2年課程2年生	1人	1,236,240円	1,236,240円
合計		60人	95,217,020円	46,421,760円

(2) 介護福祉士実務者研修受講資金の貸付

介護の実務経験3年以上をもって介護福祉士国家試験を受けるには、「介護福祉士実務者研修」の修了が義務付けられているため、都道府県が指定する養成施設に入講し、資格取得を目指す受講者に対して、受講費用等の貸付けを実施した。

令和3年度貸付決定者分

貸付決定者数	41人
令和3年度貸付決定額	7,391,500円

(3) 離職介護人材の再就職準備資金の貸付

即戦力として期待される介護人材として求められる一定の知識及び経験を有する方に対し、再就職準備金の貸付を実施した。

令和3年度貸付決定者分

貸付決定者数	2人
令和3年度貸付決定額	800,000円

(4) 介護分野及び障害福祉分野就職支援金の貸付【新規】

新たな介護人材の参入を促進することを目的として、他業種等で働いていた者等であって、一定の研修等を修了し、介護分野及び障害福祉分野に就労しようとする者に対し、就職支援金（最大 20 万円）の貸付けを実施した。

令和 3 年度貸付決定者分

貸付決定者数	4 人
令和 3 年度貸付決定額	800,000 円

(5) 福祉系高校修学資金【新規】

今後、必要となる介護人材等を着実に確保していくため、若者の介護分野への参入促進、地域の介護人材の育成及び確保並びに定着を支援することを目的とし、福祉系高校に在学し、介護福祉士の資格の取得を目指す学生に対し、修学資金の貸し付けを実施したが、令和 3 年度は申請、貸付実績なし。

2 保育士修学資金貸付等事業の実施

(1) 保育士修学資金の貸付

質の高い保育士の養成確保を目的として、香川県内の保育士養成施設の学生に対して修学資金の貸付けを実施した。令和 2 年度から、県外養成校の学生も貸付対象とした。

① 平成 30 年度貸付決定者分

貸付者数	2 人
内訳	4 年課程 4 年生
令和 3 年度貸付額	400,000 円

② 令和元年度貸付決定者分

貸付者数	5 人
内訳	3 年課程 3 年生
	4 年課程 4 年生
令和 3 年度貸付額	1,396,000 円

③ 令和 2 年度貸付決定者分

貸付者数	25 人
内訳	2 年課程 2 年生
	3 年課程 2 年生
	3 年課程 3 年生
	4 年課程 2 年生
	4 年課程 3 年生
令和 3 年度貸付額	15,760,600 円

④ 令和 3 年度新規貸付決定者分

貸付者数		人数	貸付決定額	令和 3 年度貸付額
内訳	2 年課程 1 年生	16 人	24,600,000 円	12,300,000 円
	2 年課程 2 年生	1 人	640,000 円	640,000 円
	3 年課程 1 年生	2 人	3,188,000 円	1,396,000 円
	4 年課程 1 年生	6 人	8,753,200 円	4,309,900 円
	4 年課程 2 年生	2 人	3,200,000 円	1,600,000 円
	4 年課程 3 年生	1 人	1,200,000 円	600,000 円
合 計		28 人	41,581,200 円	20,845,900 円

(2) 保育補助者雇上費の貸付

保育士の離職防止を目的として、平成 28 年度から保育士の雇用管理改善や労働環境改善に取り組んでいる香川県内の保育事業所に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇上げに必要な費用の貸付けを行う事業を実施した。

① 令和 2 年度貸付決定者分

貸付事業所数	1 事業所
令和 2 年度貸付額	1,280,600 円

② 令和 3 年度貸付決定者分

貸付事業所数	1 事業所
令和 3 年度貸付額	2,465,000 円

(3) 潜在保育士等支援事業の実施

保育人材の確保を図るため、平成 30 年度から潜在保育士の再就職支援として、未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付及び就職準備金の貸付を実施した。

潜在保育士等支援事業		貸付者数	貸付額
内 訳	未就学児を持つ保育士保育料の一部貸付	22 名	4,693,071 円
	就職準備金貸付	3 名	963,549 円
令和 3 年度 合計		25 名	5,656,620 円

4 社会福祉法人・施設等への支援と福祉サービスの質の向上

4-1 社会福祉法人・施設等への支援

- 1 本会に設置されている、種別協議会である香川県社会福祉法人経営者協議会、香川県老人福祉施設協議会、香川県保育協議会、香川県社会福祉法人経営青年会、香川県福祉施設士会、香川県ソーシャルワーカー協会、香川コミュニティソーシャルワーク実践研究会の事務局として、その運営に協力した。
- 2 全国社会福祉協議会種別協議会及び同協議会の県段階関係者との連携をとり、事業の推進に協力した。
- 3 民間社会福祉施設職員の研修事業に対して費用助成を行った。また、社会福祉法人・施設職員のスキルアップのための研修を実施した。

(1) 助成事業

2 団体に対し、200,000 円の助成を行った。

(2) 研修事業

① 社会福祉法人会計基礎研修会（入門編）

- ・ 開催方法 オンライン研修
- ・ 配信期間 令和3年9月7日～令和3年9月21日
- ・ 参加者 26事業所
- ・ 内容 貸借対照表の理解、減価償却の考え方、2つあるフローの計算書の違い、計算書類の見方と様式等

講師 公認会計士・税理士 井上 泰之 氏

② 社会福祉法人会計実務者研修会

- ・ 開催方法 オンライン研修
- ・ 配信期間 令和4年2月8日～令和4年2月22日
- ・ 参加者 34事業所
- ・ 内容 決算事務の留意点、作成する計算書類・附属明細書、会計処理決算書の見方

講師 公認会計士・税理士 菊池 博俊 氏

③ 管理職員研修会

- ・ 開催方法 オンライン研修
- ・ 配信期間 令和4年3月15日～3月29日
- ・ 参加者 28事業所
- ・ 内容 管理職としての心得、評価することの意義と方法等についての講義

講師 コミュニケーションサポートオフィス
喜山 志津香 氏

4 香川県小規模法人のネットワーク化による協働推進事業

(1) 事業の周知

- ① 県内社会福祉法人、市町社会福祉協議会等、202か所にチラシを配布し、事業の周知を行った。
- ② 県内社会福祉法人等による下記の会において、本事業の周知を行った。

開催日	会議等の名称
令和3年5月27日	香川県社会福祉法人経営者協議会 第1回総会
令和4年2月21日	小豆圏域合同拡大連絡会

(2) 地域貢献のための協働事業の実施

みんなの島のおむすびネットワーク

- ・ 参画法人 社会福祉法人聖愛財団、社会福祉法人イエス団、NPO法人 SEEDS OF HOPE、一般社団法人小豆島 子ども・若者支援機構
- ・ 日 時 令和3年8月～令和4年3月
- ・ 会 場 各施設、オンライン
- ・ 内 容 小豆島での子ども・若者に関わる法人、団体で情報共有する場を設け、子どもの移動支援に関する協議やライン相談ネットワークの構築などを行った。

(3) 福祉・介護人材の確保・定着のための取り組みの推進

小豆圏域ネットワーク会議

- ・ 参画法人 社会福祉法人イエス団、社会福祉法人サンシャイン会、社会福祉法人聖マルチンの家、社会福祉法人明和会、小豆島町介護保険施設、小豆地区広域行政事務組合、社会福祉法人聖愛財団、社会福祉法人みくに園、社会福祉法人ひまわり福祉会、有限会社お元気ですかショップ山下、NPO法人三都の浜、医療法人一士会、社会福祉法人清見福祉会、NPO法人あすなろの家、社会福祉法人土庄町社会福祉協議会、社会福祉法人小豆島町社会福祉協議会
- ・ 日 時 令和3年11月15日
- ・ 会 場 サンシャイン会等
- ・ 内 容 研修「コミュニケーションスキルアップセミナー」
講師 (株)ONDOK 代表取締役 谷 益美 氏

(4) 小規模法人ネットワーク推進セミナーについて

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実践報告会との合同で開催した。

(5) 事業の実施報告

① 実践報告会

令和2年度の実践団体に報告を行ってもらうとともに、小規模な社会福祉法人等が複数法人の連携に取り組む意義を考えることを目的に、下記のとおり実践報告会を開催した。

- ・ 日 時 令和 3 年 7 月 30 日
- ・ 開催方法 オンライン（発表者は、香川県社会福祉総合センターに参集）
- ・ 内 容 事業説明

説明者：香川県社会福祉協議会
実践報告

- ・ 高松市一宮地区マイ・タイムラインワークショップ
- ・ 小豆島 子ども・若者 ネット
- ・ 小豆圏域ネットワーク会議

助言者 全国社会福祉法人経営者協議会
社会福祉法人ネットワーク委員長
庄子 清典 氏

統括講義「社会福祉法人の役割と連携について」

講師 全国社会福祉法人経営者協議会
社会福祉法人ネットワーク委員長 庄子 清典 氏

- ・ 参加者 12名

② 実施報告書

県内社会福祉法人、市町社会福祉協議会、各自治体の福祉担当課等、210か所に実績報告書を配布した。

5 新型コロナウイルス施設間応援事業

（1）新型コロナウイルス施設間応援の調整業務

協力施設等の登録

- ・ 協力施設の登録数（3月31日時点）
法人数 62 法人
施設数 132 施設

（2）新型コロナウイルス感染症対策に対する検討会の実施

応援派遣の体制や内容に関すること、派遣時の調整業務に関すること等について協議を行うため、香川県社会福祉法人経営者協議会、香川県老人福祉施設協議会、香川県介護老人保健施設協議会の三団体からの推薦者を構成員として検討会を開催した。

- ・ 日 時 令和 3 年 8 月 26 日
- ・ 会 場 参集形式と WEB 形式の併用
香川県社会福祉総合センター
- ・ 検討事項 令和 2 年度の実績報告、施設で感染者が発生した場合のガイドライン等について、補助金について
- ・ 出席者 構成員 6 名、県長寿社会対策課 3 名、高松市長寿社会部 1 名、県社協 4 名

4－2 福祉サービス苦情解決事業の推進

1 香川県運営適正化委員会の運営

(1) 運営適正化委員会本会議の開催

開催日	場 所	出席 委員数	議事内容
令和3年5月	新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催	12名	・令和2年度事業報告 ・令和3年度事業計画(案)

(2) 運営監視合議体の開催

	開催日	場 所	出席 委員数	議事内容
第1回	令和3年8月	新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催	8名	・日常生活自立支援事業の実施状況報告 ・令和2年度日常生活自立支援事業の運営監視実施状況及び改善状況報告 ・令和3年度日常生活自立支援事業の運営監視計画(案)
第2回	令和4年2月22日	香川県社会福祉総合センター	7名	・令和3年度日常生活自立支援事業の現地調査結果 ・市町社会福祉協議会に対する通知(案) ・県社会福祉協議会に対する提言等(案)

(3) 苦情解決合議体の開催

	開催日	場 所	出席 委員数	議事内容
第1回	令和3年7月1日	香川県社会福祉総合センター	5名	・苦情申出案件の検討 ・苦情対応研修会の実施
第2回	令和3年9月	新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催	5名	・苦情申出案件の検討
第3回	令和3年12月13日	香川県社会福祉総合センター	3名	・苦情申出案件の検討 ・苦情対応研修アンケート結果の報告
第4回	令和4年3月3日	香川県社会福祉総合センター	4名	・苦情申出案件の検討

2 日常生活自立支援事業の運営監視

9市町社協を対象に現地調査を行い、その結果を合議体会議で審議の上、社協ごとに改善すべき点(不祥事を未然に防止するチェック体制の整備等)などを通知し、助言を行った。

また、同時に事業主体である県社協には、市町社協の行う事業の管理・監督の徹底及び事業の円滑な遂行に必要な基本的な事項(実施体制整備、金品管理の原則、面接・記録のスキルアップ等)に係る研修の実施など、市町社協に対する、きめ細かな支援を継続することで、適正な運営が図られるよう提言等を行った。

3 苦情解決事業実施状況

苦情相談の受付は電話、来所、メール等で行い、77件の苦情・相談に対応した。

(1) 苦情・相談受付件数(月別、初回受付方法別)

	受付方法								備考	
	来 所		電 話		その他の(メール)		計			
	苦 情	相談等	苦 情	相談等	苦 情	相談等	苦 情	相談等		
4月			6	5			6	5		
5月	1		5	2			6	2		
6月			6	2			6	2		
7月			2		1		3			
8月	1		4	2			5	2		
9月			2	1			2	1		
10月			5				5			
11月	2		4				6			
12月			5	1			5	1		
1月					1	1		1	1	
2月					5	2		5	2	
3月			10	1			10	1		
合 計	4		54	17	2		60	17		

※「相談等」は、苦情ではない相談・問い合わせ等

(2) 苦情申出人別受付状況

	利用者		家 族		代理 人		職 員		その 他		計	
	苦情	相談等	苦情	相談等	苦情	相談等	苦情	相談等	苦情	相談等	苦情	相談等
高齢者	9		15						1	1	25	1
障害者	4		4				1		1		10	
児童			4						1	1	5	1
その他	19	7		3				1	1	4	20	15
合 計	32	7	23	3			1	1	4	6	60	17

(3) 苦情の解決方法別状況

	区分	苦情解決結果								
		① 解当 事者 の推 奨で の間	② 相談 ・助言	③ 他機 関の紹 介	④ あっせん	⑤ 行政 への通 知	⑥ 事業 所への 伝達 ・助言	⑦ その 他	⑧ 継 続中	合 計
高 齢 者	①サービス内容（職員の接遇）		1				2			3
	②サービス内容（サービスの質や量）		2	4			1			7
	③利用料									
	④説明・情報提供				1					1
	⑤被害・損害		3	3			7			13
	⑥権利侵害									
	⑦その他				1					1
障 害 者	①サービス内容（職員の接遇）		1	1			1			3
	②サービス内容（サービスの質や量）		1	2			1			4
	③利用料						1			1
	④説明・情報提供									
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害			1						1
	⑦その他				1					1
児 童	①サービス内容（職員の接遇）						1			1
	②サービス内容（サービスの質や量）			1						1
	③利用料									
	④説明・情報提供							1		1
	⑤被害・損害						1			1
	⑥権利侵害									
	⑦その他				1					1
その 他	①サービス内容（職員の接遇）		9				8			17
	②サービス内容（サービスの質や量）									
	③利用料									
	④説明・情報提供						1			1
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害									
	⑦その他				1				1	2
合 計	①サービス内容（職員の接遇）		11	1			12			24
	②サービス内容（サービスの質や量）		4	6			2			12
	③利用料						1			1
	④説明・情報提供				1		1	1		3
	⑤被害・損害		3	3			8			14
	⑥権利侵害			1						1
	⑦その他				4			1		5
合 計			19	15			24	2		60

4 運営適正化に関するその他の事業

苦情解決事業への理解を促進するため、施設利用者・一般向けに広報・啓発を行なったほか、事業所自らが行う苦情対応の質の向上を図るため、福祉サービス事業者・職員等を対象とした研修会を実施した。

また、中国・四国ブロック運営適正化委員会事務局長会議を主催県としてオンラインで開催し、運営適正化事業の課題等について、情報交換・意見交換を行った。

(1) 広報・啓発活動について

- ① パンフレット・ポスターの配付等
- ② 県社協ホームページに制度の概要を掲載

(2) 「福祉サービス苦情対応研修会」の開催

- ・ 開催方法 オンライン研修
- ・ 配 信 令和3年9月29日～10月12日
- ・ 参加者対象 福祉サービス事業者、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員、運営適正化委員、社協職員等
- ・ 申込事業所 167事業所
- ・ 内 容 講師 早稲田大学 人間科学学術院 教授 岩崎 香 氏
講演 第一部「苦情対応の基本」
第二部「苦情解決の実際」

(3) 「中国・四国ブロック運営適正化委員会事務局長会議」の開催

- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 開催日 令和3年11月24日
- ・ 内 容 業務の現状と課題に係る情報交換・意見交換等

5 法人組織体制の強化と人材育成

5-1 法人経営と事務局運営体制の強化

1 自主財源確保への取組み

自主財源確保の一環として、平成22年3月からホームページにおけるバナー広告の募集を行う他、県社協パンフレットを会議等で配布し、賛助会員等の募集を行った。

また、事務室及び駐車場等の不動産の賃貸借契約等により、収益事業を行った。なお、高松市藤塚町1-1-3に所有していた土地については、購入の申込があった株式会社サクマに売却した。

2 新型コロナウイルス感染症対策

香川県新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化事業費補助金で、アクリルパーテーションや消毒液、抗原検査キットを購入するとともに、時差出勤や在宅勤務を実施し、感染拡大防止に取り組んだ。

3 会務の運営

(1) 理事会の開催

① 第1回理事会(理事会決議の省略)

- ・ 提出議案
 - 第1号議案 定款の一部変更について
 - 第2号議案 経理規程の一部改正について
 - 第3号議案 令和3年度第一次補正予算（案）について
 - 第4号議案 令和2年度事業報告の承認について
 - 第5号議案 令和2年度収支決算の承認について
 - 第6号議案 任期満了に伴う理事・監事候補者の推薦について
 - 第7号議案 任期満了に伴う評議員候補者の推薦について
 - 第8号議案 定時評議員会の開催について
- ・ 理事会の決議があったとみなされた日 令和3年6月7日

② 第2回理事会(理事会決議の省略)

- ・ 提出議案
 - 第1号議案 会長、副会長、常務理事の選定について
 - 第2号議案 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について
 - 第3号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について
- ・ 理事会の決議があったとみなされた日 令和3年7月14日

③ 第3回理事会

- ・ 開催日 令和3年8月11日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 出席者 13名
- ・ 提出議案
 - 第1号議案 本会所有地の売買について
 - 第2号議案 令和3年度第2回評議員会の開催について

④ 第4回理事会

- ・ 令和3年11月11日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 出席者 14名
- ・ 提出議案
 - 第1号議案 令和3年度第二次補正予算（案）について
 - 第2号議案 職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について
 - 第3号議案 職員再雇用に関する規程の一部改正について
 - 第4号議案 職員給与等支給規程の一部改正について
 - 第5号議案 令和3年度第3回評議員会の招集について
- ・ 報告事項
 - 報告事項 会長及び常務理事の職務執行状況について

⑤ 第5回理事会

- ・ 開催日 令和4年3月17日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 出席者 12名
- ・ 提出議案
 - 第1号議案 令和3年度第三次補正予算（案）について
 - 第2号議案 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について
 - 第3号議案 役員報酬等の総額について
 - 第4号議案 職員給与等支給規程の一部改正について
 - 第5号議案 職員再雇用に関する規程の一部改正について
 - 第6号議案 役員等賠償責任保険契約について
 - 第7号議案 令和4年度事業計画（案）について
 - 第8号議案 令和4年度予算（案）について
 - 第9号議案 常務理事の選定について
 - 第10号議案 育児・介護休業等に関する規程の制定について
 - 第11号議案 個人情報保護規程の一部改正について
 - 第12号議案 令和3年度第4回評議員会の招集について
- ・ 報告事項
 - 報告事項 会長及び常務理事の職務執行状況について

(2) 監事会の開催

- ・ 開催日 令和3年5月26日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 出席者 監事2名
- ・ 監査事項 令和2年度事業実施状況
令和2年度収支決算状況

(3) 評議員会の開催

① 第1回評議員会(評議員会決議の省略)

- ・ 提出議案
 - 第1号議案 定款の一部変更について
 - 第2号議案 令和3年度第一次補正予算（案）について
 - 第3号議案 令和2年度事業報告の承認について
 - 第4号議案 令和2年度収支決算の承認について
 - 第5号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任について
- ・ 評議員会の決議があったとみなされた日 令和3年6月28日

② 第2回評議員会(評議員会決議の省略)

- ・ 提出議案
 - 第1号議案 本会所有地の売買について
- ・ 評議員会の決議があったとみなされた日 令和3年8月24日

③ 第3回評議員会

- ・ 開催日 令和3年11月24日

- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 出席者 14名
- ・ 提出議案

第1号議案 令和3年度第二次補正予算（案）について

④ 第4回評議員会

- ・ 開催日 令和4年3月25日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 出席者 13名
- ・ 提出議案

第1号議案 令和3年度第三次補正予算（案）について

第2号議案 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について

第3号議案 役員報酬等の総額について

第4号議案 令和4年度事業計画（案）について

第5号議案 令和4年度予算（案）について

（4）評議員選任・解任委員会の開催

- ・ 開催日 令和3年6月22日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 出席者 委員4名
- ・ 議 事 第1号議案 評議員の選任について

5－2 職員の人材育成と組織体制の強化

1 県社協職員の人材育成

（1）資格取得の促進及び研修の参加

① 社会福祉士及び精神保健福祉士通信課程の受講促進

- ・ 令和3年度末資格取得職員（総合職）

社会福祉士 18名中 14名

精神保健福祉士 18名中 3名

② 職員研修計画に基づいた研修の実施

職員研修計画に基づき、職場内研修を実施するとともに、職場外研修として専門研修を受講した。

（2）人事考課制度の実施

人事考課表及び実績考課シートによる人事考課制度を実施し、令和3年度6ヶ月及び12ヶ月期の勤勉手当に反映した。

（3）職員個別面接の実施

全職員を対象にした、常務理事による職員個別面談を実施した。

2 事務局体制の整備

（1）地区担当制の実施

地域福祉課で職員の地区担当制を実施し、ネットワーク会議等に参加した。

(2) 課題別職員ワーキンググループの設置・実施

① I C T化推進グループ(年3回)

オンライン会議・研修のマニュアル作成及びoffice365導入検討等を行った。

② 広報グループ(年3回)

ホームページ改修内容の確認及び企業向けP R活動方法についての話し合い等を行った。

3 県社協第2次強化発展計画の進行管理

平成30年6月に策定した「香川県社会福祉協議会第2次強化発展計画」の今年度の取り組み状況について進捗管理を行った。

5－3 広報機能の充実・強化

1 福祉香川の発行

本会の機関紙として「福祉香川」を、年1回、各5,500部発行し、本会賛助会員、民生委員・児童委員、社会福祉施設・団体、市町社会福祉協議会、関係行政機関等に配付した。

2 香川県社会福祉協議会ホームページでの情報提供

平成13年3月1日から開設した県社協ホームページにおいて、本会事業の紹介をはじめ、社会福祉施設・社協の名簿、各種行事・助成の案内等、ボランティア募集、社会福祉に関する情報等に関する情報等を掲載した。また、ホームページのリニューアルに取り組んだ。

県社協ホームページアドレス <http://www.kagawaken-shakyo.or.jp>

3 福祉情報コーナー整備、貸出し

DVD、福祉教材(高齢者疑似体験セット等)を各種研修会等に貸出しを行った。

3年度中の利用件数は、福祉教材19件635セットであった。

4 各種助成事業への協力

各種助成事業の広報及び取りまとめ等の協力を行った。

5 香川県社会福祉大会の開催

第68回香川県社会福祉大会を次のとおり開催した。

- ・ 開催日 令和3年10月19日
- ・ 場 所 サンポートホール高松大ホール
- ・ 参加者 受賞者73名及び関係者
- ・ 内 容 式典及び表彰
- ・ 表 彰 ○ 香川県知事 表彰 13個人・1団体
○ 香川県社会福祉協議会会长 表彰 80個人・4団体

感謝 5 団体
 ○ 香川県共同募金会会長 表彰 22 個人・ 6 団体

6 社会福祉関係ポスターの配付

老人の日・老人福祉週間ポスターを市町社会福祉協議会等に配付し、その趣旨の普及に努めた。

また、児童福祉月間や各種社会福祉運動の趣旨の普及にも努めた。

7 共同募金運動への協力

機関紙「福祉香川」等を通じて、共同募金運動の趣旨の普及と協力の呼びかけを行った。なお、10月1日の共同募金運動展開行事は中止であった。

8 教員免許特例法による「介護等体験」事業の充実強化

教員免許の取得を希望する学生に義務づけられている「介護等体験」を香川県内の社会福祉施設等で実施する際に受入調整を行った。本年度の実施社会福祉施設等は、8 施設、参加学生は 3 大学の 19 名であった。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により介護等体験を行う社会福祉施設等で受入れが困難な状況があり、介護等体験を行うことが困難な学生等のために、12 大学で介護等体験の代替措置を実施した。

(1) 参加大学・短期大学

	大 学		短 期 大 学		合 計	
	大学数	参加学生数	短期大学数	参加学生数	大学・ 短期大学数	参加学生数
県内	1	16	0	0	1	16
県外	2	3	0	0	2	3
合計	3	19	0	0	3	19

(2) 実施社会福祉施設等

種 别 名	施設数	参加学生数	種 别 名	施設数	参加学生数
指定障害福祉サービス事業所	1	1	児童養護施設	0	0
障害者支援施設	1	5	知的障害児施設	0	0
養護老人ホーム	0	0	救護	0	0
特別養護老人ホーム	5	8	デイ	0	0
介護老人保健施設	1	5			
合 计				8	19

9 県内社会福祉施設・団体の各種研修会・研究協議会に共催・後援等を行った。

また、本会で事務局を担当している一般財団法人香川県民間社会福祉施設振興財団、香川県ソーシャルワーカー協会、香川県民生委員児童委員協議会連合会、香川コミュニティソーシャルワーク実践研究会、特定非営利活動法人後見ネットかがわ、特定非営利活動法人フードバンク香川の事業の運営、業務の推進に協力した。

全国・四国ブロック会議等への参加

開催日	会議の名称	担当課・室・センター
令和3年 9月1日	四国ブロック常務理事・事務局長会議(オンライン)	総務企画課
9月22日	四国ブロック県社協事務局次長・総務担当者会議 (オンライン)	総務企画課
12月8日	「コロナ特例貸付からみえる生活困窮者支援のあり方に関する検討会」作業委員会	福祉資金室
令和4年 3月24日	地域福祉推進委員会令和3年度第6回企画小委員会	地域福祉課
3月29日	都道府県・指定都市社協の経営に関する委員会	総務企画課